

179

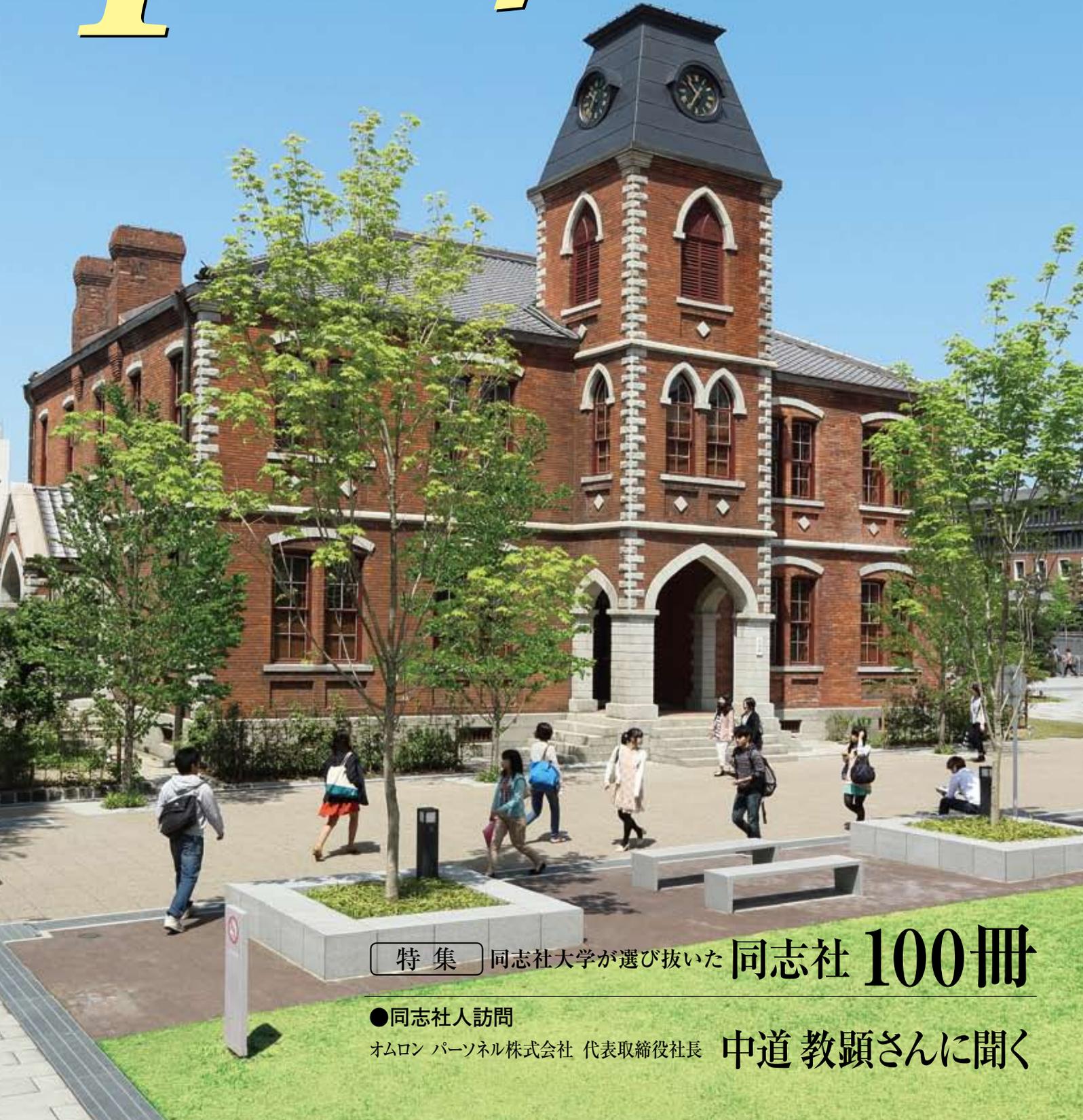
2014
June

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY



特集

同志社大学が選び抜いた

同志社 100冊

●同志社人訪問

オムロン パーソネル株式会社 代表取締役社長

中道 教顕さんに聞く

『ONE PURPOSE』は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

特集

同志社大学が選び抜いた

同志社 100冊

2



SEMINAR ~ゼミ探訪 学びの時間~ -----	9
グローバル・コミュニケーション学部 竹田 宗継 ゼミ	
同志社の研究は今 -----	11
管径方向分配現象研究センター 塚越 一彦 理工学部教授	
データでみる同大生の2013年度就職戦線 -----	13
2014年度 大学予算について -----	15
CAMPUS NEWS -----	17
新入学生歓迎特別講演会 宮本慎也氏(野球解説者) 球道即人道~野球から学んだリーダーシップ~/新入学生歓迎特別講演会 林修氏(東進ハイスクール東進衛星予備校・現代文講師) 大学生に「今」伝えたいこと/脳科学研究科公開講演会開催 神経難病の克服に向けて~神経疾患研究の現在と治療、創薬/体育会表彰式/文化系公認団体表彰式/同志社大学の募金事業/新任教員紹介/本学教員執筆図書紹介	
INTERVIEW ~同志社人訪問~ -----	20
オムロン パーソネル株式会社 代表取締役社長 中道 教顕さんに聞く	
MY JOB, MY LIFE ~シリーズ 私と「仕事」~ -----	23
・前川 陽平さん(2006年 文学部社会学科新聞学専攻卒業) ・小野田 真実さん(2011年 社会学部メディア学科卒業)	
ANNOUNCEMENT -----	25
MY PURPOSE ~挑戦する人~ -----	27
「第3回 サイエンス・インカレ」で生命医科学部のチームが2年連続受賞 ~自ら発見し、研究した成果を発表する貴重な場を経験~ ・菊池 駿斗さん(生命医科学部 3年次生) ・晩田 泰斗さん(生命医科学部 3年次生)	

表紙の情景 [今出川キャンパス 彰栄館]



1884年(明治17年)竣工。京都市内に現存する重要文化財の煉瓦建築では、最古のもの。同志社教員の宣教師D. C. グリーンが設計し、大工の棟梁・尾瀧菊太郎が施工した。外部はアメリカゴシック様式で、内部の間仕切壁や小屋組などは純和風。

時計塔の鐘と時計は1887年(明治20年)に教員のJ. D. デイヴィスが据え付け、明治以来、司鐘生と呼ばれる生徒が毎朝の礼拝を告げる鐘を鳴らしたという。

1951年(昭和26年)に同志社中学校の新彰栄館が増築されたが、今出川キャンパス整備事業に伴い建築当初の姿に戻すための修復工事が今年3月に完了し、新たに学長室などが移転した。



特集

同志社 100冊

在学中にぜひ読んでいただきたい
古典・名著を中心として
同志社大学が選び抜いた推薦図書を
ご紹介します。



同志社大学長
村田 晃嗣

同志社の創立者・新島襄が学んだアーモスト大学は、
全米屈指のリベラル・アーツ・カレッジです。
リベラル・アーツ（一般教養）は、単に職業のための知識習得では
なく、人格の陶冶を目標にしています。
リベラル・アーツに基礎を置かない専門教育は、
すぐに陳腐化してしまうでしょう。
そのリベラル・アーツには、良質の読書が不可欠です。
とりわけ、長年の風雪に耐え抜いた古典や名著が重要でしょう。
インターネットは情報を提供できても、
知性を育むことはできません。
簡単には理解できない一流の知性と、
若いうちにぜひ格闘してみてください。
それは知的なスポーツであり、
皆さんにとって、生涯の財産になるにちがいありません。

怒りの葡萄(上下)

ジョン・スタインベック(大久保康雄 訳)
新潮文庫 上巻 670円/下巻 670円

大恐慌時代、より良い暮らしを求めてカリフォルニアへ向かう一家の物語。時代背景は1930年代の米国だが、現代の雇用問題に通じるところがあるように思う。『エデンの東』と同様、スタインベックのキリスト教主義的考え方が底流にある。

エデンの東(上下)

ジョン・スタインベック(土屋政雄 訳)
早川書房 上巻 2,300円/下巻 2,300円
アイルランド移民の一家と、東部から来た一家の2家族の歴史を描いた作品。そのモチーフは創世記のカインとアベルである。1955年に映画化された。ジェームズ・ディーンの鮮烈なデビュー作であった。

風立ちぬ

堀辰雄 新潮文庫 400円

堀辰雄の体験をもとに執筆された代表的作品である。「序曲」「春」「風立ちぬ」「冬」「死のかげの谷」の5章から成り、生きることよりも死ぬことの意味を問いかけている。

金閣寺

三島由紀夫 新潮文庫 590円

「生きようと私は思った。」で、この物語は幕を下ろす。金閣寺に火をつけ、死のうと決意していた主人公に、生への欲望が最後に湧いてきたのはなぜだろうか。三島由紀夫の美学と哲学が凝縮されているように思われる。

細雪(上・中・下)

谷崎潤一郎 新潮文庫
上巻 550円/中巻 630円/下巻 710円

昭和十年代前半の芦屋を舞台にした嵯岡(まさおか)家四姉妹を中心とする物語である。当時の風俗を仔細に絡めながら、達者な文章で最後まであきさせない。

車輪の下

ヘルマン・ヘッセ(高橋健二 訳)
新潮文庫 340円

大人達の無理解やエゴという「車輪の下」で抑圧され、最後は自死した少年ハンス。ラストシーンでの「あの子のためにいろいろ『手ぬかり』をしてきた。」という言葉。教育とは何かを考えさせられる。

審判

フランツ・カフカ(辻理 訳)
岩波文庫 860円

身に覚えの無いことで逮捕された主人公。結局何も明らかにならないまま死刑になる。不条理に満ちた社会に生きる孤独と不安を描く。

聖なるもの

ルードルフ・オットー(久松英二 訳)
岩波文庫 1,140円

20世紀前半に活躍したドイツの神学者、宗教学者の代表作。宗教が包含する神性は非合理的な「スミノーゼ」であると論じる。宗教を根本的に理解するための必読書。

新島襄教育宗教論集

同志社 編 岩波文庫 840円

新島襄は、キリスト教をベースとする教育そして教会という2つの要素を起爆剤とし、日本の精神的な近代化を成し遂げようとした。独自の教育及び宗教思想を知る上で不可欠の資料約40本を収録。



北村透谷選集

北村透谷 岩波文庫 860円

北村透谷は明治期のキリスト教詩人。吉野山の満開の桜が実利を生まないからといって、さつま芋を植えることは、同志社の新島襄を福沢諭吉に換えるようなものと論じた。

ドン・キホーテ(全6巻)

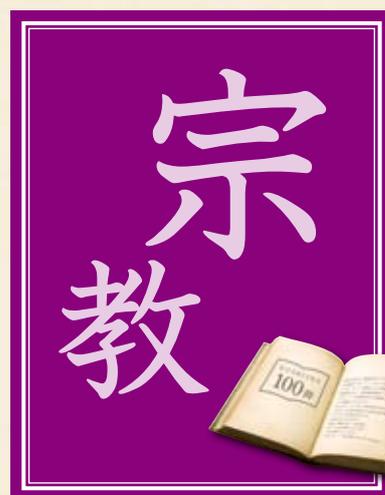
ミゲル・デ・セルバンテス・サアベドラ
(牛島信明 訳) 岩波文庫 5,140円

ドン・キホーテとは400年前にスペインの作家セルバンテス書いた小説の主人公である。彼の名がかくも世界的に知れ渡っていることの意味を、ぜひ実際の作品から読み取ってもらいたい。

フランケンシュタイン

メアリー・ウォルストンクラフト・シェリー
(森下弓子 訳) 創元推理文庫 740円

皆さんが映画で知っているイメージと異なり、原作の怪物は、知的でより人間的な存在。科学、社会、文学どのジャンルを学ばれる方にとっても必読の一書でしょう。



旧約聖書(ユダヤ教の聖書)

日本聖書協会 2,500円

『旧約聖書』はキリスト教の名称で、元々はユダヤ教の聖書(タナハ)である。なかなか読みにくい書物であるから、興味が持てそうところから読もう。「コヘレトの言葉」がお勧め。

新約聖書

日本聖書協会 1,800円

同志社はキリスト教主義である。キリスト教を理解するためにはまず『新約聖書』を読むに限る。読まず嫌いの人も在学中に読んでみよう。「目からうろこ」(使徒言行録9:18)となるかも。

コーラン(上・中・下)

井筒俊彦 岩波文庫
上巻 800円/中巻 860円/下巻 940円

世界に約15億人を数えるイスラム教徒が、唯一神アッラーから預言者ムハンマド(632年没)に下された啓示を集めたと信じる啓典。イスラームの文化や社会の根源。

キリスト者の自由

マルティン・ルター(石原謙 訳)
岩波文庫 480円

キリスト者は「自由な君主」であり、同時に「奉仕する僕」である、という冒頭の命題は、キリスト教信仰の根本原理を簡潔に語る。真の自由とは何かを問いかける名著。

宗教論

シュライエルマッヘル(佐野勝也/石井次郎 訳) 岩波文庫 絶版(図書館に蔵書有)

「近代神学の父」シュライエルマッヘル(シュライアマハー)の若い時代の作品。宗教の本質を定義し、諸宗教共存の可能性を論じた古典的名著。ドイツの近代宗教学にも大きく貢献。

古都

川端康成 新潮文庫 490円

近代京都を描いた傑作小説。作者は日本最初のノーベル賞文学賞受賞作家。祇園祭をはじめとする京都の四季の風物の描写がこの上なく美しい。

自然と人生

徳富蘆花 岩波文庫 600円

同志社が輩出した最高の文学者が持ち前の美文で自然と人間を語り尽くした愛すべき小品集。含蓄溢れる名文をゆっくり味わう読書の喜びを満喫させてくれる1冊。

失楽園(上・下)

ジョン・ミルトン(平井正穂 訳)

岩波文庫 上巻 960円/下巻 960円

シェイクスピアと並び称せられるイギリスの大詩人によるピューリタニズム文学の最高峰。同志社マークを考案した湯浅半月は、この作品を暗唱しながら同志社英学校を散歩していた。

白鯨(上・中・下)

ハーマン・メルヴィル(八木敏雄 訳)

岩波文庫 上巻 1,000円/中巻 1,000円/下巻 1,000円

アメリカ文学の最高傑作。謎の白い巨大な鯨を追って、孤独な闘いを繰り広げる船長の自己破壊的な情熱の中に、答えのない問いに挑み続ける近代文明の暗部が浮かび上がる。

ハムレット

ウィリアム・シェイクスピア(松岡和子 訳)

ちくま文庫 660円

誰でも知っているシェイクスピアの名作悲劇。知っているだけで満足せず、自分で読んでみるのが読書の出発点。ハムレットとは何者なのか。その答えはまだ誰も知らない。

ロビンソン・クルーソー

ダニエル・デフォー(武田将明 訳)

河出文庫 950円

イギリス近代小説の元祖。渡米する前の新島襄が読み、見知らぬ土地への憧れに駆り立てられた物語でもある。新島精神成立現場を追体験するための同志社人必読の書。

阿Q正伝

魯迅(増田渉 訳) 角川文庫 438円

西欧近代と東洋的思考に挟まれて苦悩する知識人の姿は今も昔も変わらない。歴史的背景を知らないと読み進むのは難しい本だが、竹内好さんの研究書と合わせて読むとよく分かる。

ミドルマーチ(全4巻)

ジョージ・エリオット(工藤好美・淀川郁子 訳) 講談社文芸文庫
絶版(女子大図書館に蔵書有)

ミドルマーチを舞台に、ドロシアという名の女性が直面する恋愛、結婚、友情を主題に、繊細な感情の機微が巧みに描かれた長編小説。人の心の表裏、多様性と複雑性が分かる。

カラマーゾフの兄弟(全5巻)

フョードル・ミハイロヴィチ・ドストエフスキー(亀山郁夫 訳) 光文社古典新訳文庫
4,001円

ドストエフスキーは書き上げて80日後に亡くなった。続編を書くつもりだったという。大学生の時だから読める大作。読後は江川卓『謎とき「カラマーゾフの兄弟」』でさらに新たな発見を。

ジェイン・エア(上・下)

シャーロット・ブロンテ(河島弘美 訳)

岩波文庫 上巻 1,020円/下巻 1,080円

不幸な生い立ちのジェインはある貴族に家庭教師として雇われる。そこで出会ったロチェスターと幾多の試練を経て結ばれるまでを描く。不屈の精神で生き抜く女性が素晴らしい。

自由からの逃走 新版

エーリッヒ・フロム(日高六郎 訳)

東京創元社 1,700円

人は自由を求めながら自由になるほど孤立し、それを恐れるあまり自らを束縛するもの(組織、規則など)に惹かれていく。人生の岐路に立つ人にぜひ読んでほしい。

源氏物語(全5巻)

紫式部(谷崎潤一郎 訳) 中公文庫

4,780円

日本文学の古典といえば、この作品の右に出るものなし。まず、文豪谷崎潤一郎の筆が冴え渡る現代語訳で、雅な京都文化の源泉に触れてほしい。

徒然草

吉田兼好 岩波文庫 960円

「つれづれなるままに、日ぐらし、すずりにむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。」『枕草子』(清少納言)、『方丈記』(鴨長明)と並ぶ日本の古典三大随筆。

ファウスト(第1部、第2部)

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ(相良守峯 訳) 岩波文庫

第1部 860円/第2部 960円

この世を最も奥の奥で動かしているものは何か、それが知りたい。学問の無力さを知ったファウストは悪魔メフィストフェレスと契約を結び、快楽や愛や憎しみの涯に悲劇の幕が下り、続いて悪魔とともに様々な事業を行い、やがて老いたファウストの魂は天に帰る。

ユートピア

トマス・モア(平井正穂 訳)

岩波文庫 660円

巨大な三日月型の島国。そこは私有財産の禁止、男女同権、思想宗教の自由そして全ての人びとが労働に勤しむ理想郷。啓蒙主義が流行するはるか以前の思想とは思えないトマス・モアの発想である。

アンナ・カレーニナ(上・中・下)

レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ(木村浩 訳) 新潮文庫

上巻 750円/中巻 940円/下巻 840円

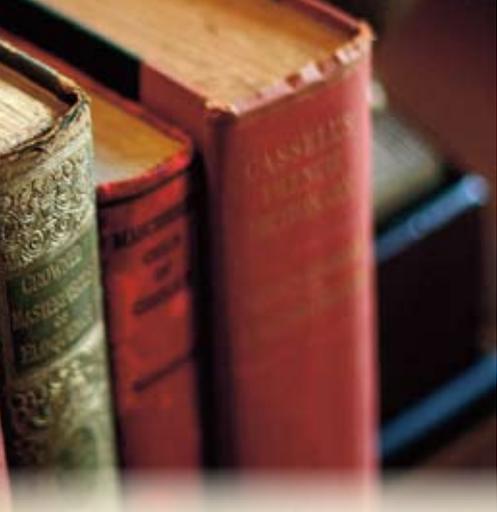
人間の本质を描いたトルストイの最高傑作。「真の幸福とは何か」といった重要なテーマについて、とても深く考えさせてくれる作品である。

偉大なギャツビー

F・スコット・フィッツジェラルド(野崎孝 訳) 集英社文庫 500円

1920年代アメリカ。富裕階級として華々しく生きる謎の男ギャツビー。財力でかつての恋人との失われた関係を取り戻そうとするが…。華やかさの裏の孤独と虚しさをドライなタッチで描いた名作。





思想と風俗

戸坂潤 東洋文庫 3,000円

現代の思想と風俗に照らしてみると、もちろん時代遅れと感じる部分は少なくない。しかし、「スポーツは宗教的自己昂揚よりも、もっと阿片的だ。」という主張は、現代のスポーツを廻る問題の本質をついている。

ソクラテスの弁明・クリトン

プラトン(三嶋輝夫・田中享英 訳)
講談社学術文庫 880円

法廷でのソクラテスによる弁明、そして死刑を宣告されたソクラテスと脱獄を促すクリトンとの対話。「善く生きること」とは何か、「不知の自覚と知」、「人格としての国家」、「公民」、「正義」など、ソクラテスの哲学の集大成がここにある。

人を動かす

デーブル・カーネギー(山口博 訳) 創元社
1,500円

多種多様な自己啓発書が続々と出版されているが、本書は自己啓発書の元祖である。初版が1936年であるにもかかわらず、その後、半世紀以上もロングセラーとなっている。このことだけをとても一読の価値あり。

ホモ・ルーデンス

ヨハン・ホイジンガ(高橋英夫 訳)
中公文庫 876円

文化は人間の遊びの中で、遊びとして発生したとホイジンガは主張する。スポーツ文化もわかり。現代のスポーツは真面目になりすぎたため、遊びの領域から去ろうとしているのか。

留岡幸助 - 自叙 / 家庭学校 (人間の記録 (82))

留岡幸助 日本図書センター 1,800円

留岡幸助は、同志社出身の牧師、また北海道家庭学校の創始者であり、「日本の社会福祉の父」といわれる。本書では彼の半生と非行少年のケアについて明らかにしている。

幸福論

バートランド・ラッセル(安藤貞雄 訳)
岩波文庫 780円

「幸せな気分」を取り上げた本が近年、多数出されているが、本書は「幸福な人生」を論じている。どこからでも読め、自分を振り返ることができる。



菊と刀

ルース・ベネディクト(長谷川松治 訳)
講談社学術文庫 1,280円

米国の文化人類学者による日本文化論。第2次大戦後の日本占領政策にも影響を与えたといわれる。「集団主義」や「恥の文化」などの見方は古い感もあるが、それでも古典的名著。

想像の共同体

ベネディクト・アンダーソン(白石さや・白石隆 訳) NTT出版 2,415円

「国家」は想像される共同体であるという構築主義的視点から、ナショナリズムの形成過程のダイナミズムを取り上げた一冊。その形成過程におけるメディアと言語の重要性にも注目。

遊びと人間

ロジェ・カイヨワ(多田道太郎・塚崎幹夫 訳) 講談社学術文庫 1,200円

カイヨワは、競争(アゴン)、運(アレア)、模擬(ミミクリ)、眩暈(イリンクス)という分類によって遊びの性質を説明している。スポーツの本質と面白さがここにある。

エッセー (全5巻)

ミシェル・ド・モンテーニュ(宮下志朗 訳)
白水社 (1)2,000円 / (2)2,300円 /
(3)2,100円 / (4)2,300円 / (5)2,400円

真の常識こそ真の哲学である。人間を知らんと欲する者は、まずモンテーニュを読むべきである(西田幾多郎)。フランス版方丈記であり、徒然草でもある。

心を動かす話し方

デーブル・カーネギー(山本悠紀子 監修・田中融二 訳) ダイアモンド社 1,600円

スピーチ一つで印象はがらりと変わる。とはいえ、スピーチは本当に難しい。この本は社会人としてぜひとも知ってほしいスピーチのスキルを身に付けるための教則本である。

銀河鉄道の夜

宮沢賢治 ハルキ文庫 267円

美しい銀河の情景と対旋律をなすかのよう描かれる死。「本当のさいわいは一体なんだろう」「僕わからない」という主人公たちの会話の意味を大学時代に考えてみてはどうでしょう。

神曲 完全版

ダンテ(平川祐弘 訳)
河出書房新社 5,800円

イタリア語を学習してぜひオリジナルで読んでほしい。現代イタリア語はダンテやボッカチオ、ペトルカなどのトスカナ方言が基礎になっているので、初修者でも結構読める。素晴らしい本。

戦争と平和(全6巻)

レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ(藤沼貴 訳) 岩波文庫 6,000円

世界が認める超一級品の大作。主人公たちの物語の合間に、科学の考え方、歴史の見方など様々な価値ある文章がちりばめられている。

罪と罰(上下)

フョードル・ミハイロヴィチ・ドストエフスキー(工藤精一郎 訳) 新潮文庫
上巻 743円 / 下巻 781円

最近の本に多くみられるストーリーの単なる展開だけではなく、合間に法律から歴史、神学、哲学、科学に至るまで多くの議論が含まれている。世界の古典的名著の一つ。

高慢と偏見(上下)

ジェーン・オースティン(富田彬 訳)
岩波文庫 上巻 840円 / 下巻 720円

イギリスを知るにはオースティンの作品が最も近道。ユーモアの感覚、恋愛観、階級意識など、細やかな人物描写と絶妙のストーリー展開は、200年後の現代の小説や映画にも姿を変えて登場する人気ぶりだ。

誰がために鐘は鳴る(上下)

アーネスト・ヘミングウェイ(大久保康雄 訳)
新潮文庫 上巻 750円 / 下巻 750円

スペイン内戦を舞台に、著者自身の体験をもとに執筆された長編小説。戦争小説といわれるが、人間が、実は個として完結した存在ではなく、他と繋がっていること、人の痛みや苦しみがまた自らのものであることに気づく深い示唆に富む。

新島襄自伝

同志社 編 岩波文庫 1,020円

新島襄は、幕末に国禁を犯して渡米し大学で学び、その間、岩倉使節団に同行して欧米を視察した。波乱に富んだその生涯を、残された自筆の記録にてたどる。

新島八重関連書簡集

同志社大学社史資料センター 編
1,500円

新島八重が実際に受け取って、手にし、また彼女自身による言葉と筆で発信した書簡集。新島遺品庫に所蔵されている新島八重関連資料のうち、和文・英文の書簡を全点翻刻したもの。

茶の本

岡倉覚三(村岡博 訳) 岩波文庫 420円

著者は、日本を代表する画家の岡倉天心。本書は、茶道の概説書ではなく、人と交流するための心得(礼法)が記されている。なお、原著は、茶道の素晴らしさを外国人に理解してもらうために、英文で書かれている。



アメリカのデモクラシー (第1巻上下、第2巻上下)

アレクシ・ド・トクヴィル(松本礼二 訳)
岩波文庫 第1巻上 900円/下 1,100円
第2巻上 780円/下 840円

フランス名門貴族出身の著者が、新興国アメリカの民主主義を詳細に観察し様々な角度から論じた書。近代民主主義なるものを信じる人も信じない人も一度は読んでおくべき本。

遠野物語

柳田國男 集英社文庫 514円

家の神、天狗、山男、雪女、川童など、岩手県遠野郷に残る怪異な話を遠野に住む青年から聞き取り、記述したものである。京極夏彦が『遠野物語remix』で現代語訳でリメイクしている。

崇高と美の観念の起原

エドモンド・バーク(中野好之 訳)

みすず書房 2,800円

崇高とは何か。美とは何か。感じることだけに満足せず、その原因を問い詰める近代美学の出発点の一つ。新たな感性を説明することができた時、初めて新たな時代が始まる。

善の研究

西田幾多郎 講談社学術文庫 1,100円

近代日本哲学の記念碑的著作。西洋の学問的成果を精力的に受容しつつ、日本独自の思想体系を打ち立てようとする西田哲学の苦闘は、今なお続く日本の学問の苦闘でもある。

告白(上下)

アウレリウス・アウグスティヌス(服部英次郎 訳) 岩波文庫 上巻 840円/下巻 780円

キリスト教の本質的な部分だけでなく、哲学的な思考の基礎になる貴重な記録であるが、極めて平易な叙述でページをめくる手がもどかしくなる章も結構多い。

青年の思索のために

下村湖人 PHP研究所 800円

著者の言葉の一つひとつに、謙虚な心を教えられる。大学生のためというより、人生の中で読んでおくべき1冊として推薦したい本。

夢判断(上下)

ジークムント・フロイト(高橋義孝 訳)
新潮文庫 上巻 710円/下巻 710円

最初に筒井康隆の『心理学・社怪学』などを読んでから読むと面白いほどよく分かる。マルクスと並んでフロイトとダーウィンは今でも人類最高の知性であり、勇者でもある。

日本の思想

丸山真男 岩波書店 700円

川島教授の著書と同様、戦後日本の学界の「巨人」による名著。ヨーロッパやアメリカの思想家だけでなく、日本の思想家からも多くを学んでいただきたい。

現代語で読む新島襄

「現代語で読む新島襄」編集委員会
丸善 1,600円

新島襄が青年時代から晩年に至るまでに書いた数々の手紙や手記、日記などを現代語に読み下した新島襄選集。新島の思想、人となりを知る資料として、写真、スケッチなどを豊富に収録。

新島襄の手紙

同志社 編 岩波文庫 900円

「書簡の人」といわれる新島襄の数多い私信の中から96通を選び、その生涯と思想をたどる。

武士道

新渡戸稲造(矢内原忠雄 訳)
岩波文庫 560円

著者の新渡戸稲造は同志社大学にもゆかりのある人物。またグローバル人材には逆説的に自国の価値観・宗教観についての知識も必要だと思われる。

科学と人間行動

バラス・フレデリック・スキナー
(河合伊六他 訳) 二瓶社 4,200円

行動主義心理学、行動分析学の古典的名著。読み返すたび、新たな発見とともにその哲学的な深みを知る。分かりやすさとは異なる次元の面白さにチャレンジできる1冊。

パスカル パンセ抄

ブレーズ・パスカル(鹿島茂 訳)
飛鳥新社 1,600円

「人間は考える葦である」で有名な『パンセ』。17世紀のパスカルの言葉が21世紀に生きる私たちに貴重なヒントを与えてくれることに驚嘆するだろう。まずは鹿島茂の新訳で。

プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神

マックス・ウェーバー(大塚久雄 訳)
岩波文庫 1,000円

近代の西欧における資本主義の成立にとって、営利衝動に敵対的な禁欲のプロテスタンティズムが大きく貢献したという歴史のアイロニーを論証した、宗教社会学の古典的名著。

我と汝・対話

マルティン・ブーバー(植田重雄 訳)
岩波文庫 780円

ユダヤ系宗教哲学者の代表的作。「我-汝」における我は「我-それ」における我とは異なる。前者の我は人間との関係の中で、対話によって具体化される関係の中で生きるのである。

純粹理性批判(全7巻)

イマヌエル・カント(中山元 訳)
光文社古典新訳文庫 6,418円

近代西洋思想を確立した哲学書の中の哲学書。壮大な構想のもと、精緻に展開される議論を追いながら、あえて考え抜く勇氣こそが学問の基礎であることを再認識してほしい。

社会契約論

ジャン・ジャック・ルソー (桑原武夫・前川貞次郎 訳) 岩波文庫 720円

フランス革命にも影響を与えたルソーの代表作です。国民主権の意義を説き、弱者の権利の保障を説くなど、庶民、弱者の側に立った政治思想が情熱的に語られています。

自由論

ジョン・ステュアート・ミル (塩尻公明・木村健康 訳) 岩波文庫 780円

「他者に危害を与えなければ、国家や法は干渉できない」。現代では当たり前の自由主義の原理は、19世紀イギリスの哲学者、ミルのこの書物によって確かなものになりました。

政治学

アリストテレス (田中美知太郎他 訳) 中央公論新社 1,800円

大学時代に、「万学の祖」といわれるアリストテレスの著書は、1冊は読んでみるいいでしょう。ここでは、単純な民主主義礼賛は危険であるとして、より良い政体を追求されています。

統治二論

ジョン・ロック (加藤節 訳) 岩波文庫 1,400円

17世紀後半のイギリスの名誉革命、さらには、18世紀後半のアメリカ独立革命にも影響を与えました。「国家の役割とは何か」を考える上で、今でも私たちに示唆を与えてくれます。

日本人の法意識

川島武宜 岩波書店 720円

戦後、アメリカやヨーロッパの立派な法制度、裁判制度を導入したのに、なぜ、うまく機能しないのか。現代日本の法学、特に法社会学のスタートとなった、日本人論の名著です。

犯罪と刑罰

チェーザレ・ベッカリア (小谷眞男 訳) 東京大学出版会 2,200円

拷問、軽犯罪への死刑適用などもあった野蛮な時代に書かれた典型的な「啓蒙の書」です。今の法制度が先人の努力によって創られてきたことが、よく分かる書物だと思います。

リヴァイアサンI

トマス・ホブズ (永井道雄・上田邦義 訳) 中央公論新社 1,800円

暗黙の中世を打ち破り、「人間とは何か」についての冷徹な分析から、国家の必要性につき、極めて合理的に論じられています。科学に基づく近代社会の始まりを記す名著です。

君主論

ニコロ・マキアヴェッリ (佐々木毅 訳) 講談社学術文庫 780円

あるべき君主の統治について、冷酷なまでにしたたかに論じた古典。君主は「愛されるより恐れられるほうがよい」と著者は説く。また、君主には力量と並んで運が必要であるとも論じている。時代を超えて、政治や人間の本質に迫る名著である。

ザ・フェデラリスト

アレグザンダー・ハミルトン/ジョン・ジェイ/ジェームズ・マディソン (斎藤眞・中野勝郎 訳) 岩波文庫 860円

アメリカ合衆国憲法の批准をめぐる、ハミルトンら三人の政治家によって書かれた論文集。アメリカ合衆国憲法や日本国憲法を理解する上で重要なだけでなく、政治や民主主義、人間の本質について、多角的で哲学的な考察が展開されている。

職業としての政治

マックス・ウェーバー (脇圭平 訳) 岩波文庫 480円

著者は政治を幅広い社会現象として捉え、政治的支配を伝統的支配とカリスマ的支配、そして、合法的支配に分類している。また、職業政治家は動機、心情よりも結果に責任を負うとして、「心情倫理」よりも「責任倫理」の重要性を説いている。政治を学ぶ者の必読書。

職業としての学問

マックス・ウェーバー (尾高邦雄 訳) 岩波文庫 420円

短い記述だが学問をする者への強烈な戒めがある。新聞や週刊誌を読んでいる暇があればぜひ読んでほしい。日本語能力がある程度あれば1時間もかからない。

権利のための闘争

ルドルフ・フォン・イェーリング (村上淳一 訳) 岩波文庫 540円

「権利のための闘争は権利者の自分自身に対する義務である」というフレーズでも有名な、近代法学、法解釈学の基礎を創った19世紀ドイツの天才法学者の名著です。

国家(上・下)

プラトン (藤沢令夫 訳) 岩波文庫 上巻 1,100円/下巻 1,100円

誰もが知っているギリシアの哲学者、プラトンの民主主義批判です。哲学者の統治を説いたプラトンの問題意識は、現代日本の民主主義にも警鐘を鳴らすものでしょう。



ヨーロッパ文化と日本文化

ルイス・フロイス (岡田章雄 訳注) 岩波文庫 700円

ポルトガル人(イエズス会の宣教師ルイス・フロイス)からみた日本の文化風俗である。ヨーロッパと日本を対立させて描いているために面白く読める。

世論(上・下)

ウォルター・リップマン (掛川トミ子 訳) 岩波文庫 上巻 720円/下巻 840円

著者は米国の記者、政治評論家。現実とは何か? 頭の中で描く「ステレオタイプ」を通して、現実が歪んで見えるのではないのか? 大衆の心理、そして世論とは? 100年近く前に書かれた名著。

経営者の役割

チェスター・アーヴィング・バーナード(山本安次郎 訳) ダイヤモンド社 2,000円

経営学や組織論の基礎を築いた古典中の古典。分かりやすい例示などもなく抽象的な議論が続きますが、だからこそ一度チャレンジしてみる価値があると思いませんか。

資本論(全9巻)

カール・ハインリヒ・マルクス/フリードリヒ・エンゲルス(向坂逸郎 訳) 岩波文庫 9,100円

人類の超弩級の知恵がつまった書物。ゼヒドイツ語を勉強して死ぬまでに読んで欲しいが、とりあえず日本語の翻訳で読んでおいて損はない。



大陸と海洋の起源(上・下)

アルフレッド・ウェーゲナー(都城秋穂・紫藤文字 訳) 岩波文庫 絶版(図書館に蔵書有)

ウェーゲナーは、超大陸が分裂して現在の大陸と海が生まれたと主張した。流行の学説や常識にとらわれず、自説を立証しようとする強い意思が新しい地球観を生み出した。

沈黙の春

レイチェル・カーソン(青樹築一 訳) 新潮文庫 670円

1962年に出版された環境問題と自然保護の先駆けの書。詩的な表現に含まれる強いメッセージが、アメリカの歴史を変えた。日本の自然が黙りこくる心配はないのだろうか。

ご冗談でしょう、 ファインマンさん(上・下)

リチャード・P・ファインマン(大貫昌子 訳) 岩波現代文庫 上巻1,100円/下巻1,100円

ノーベル物理学賞受賞者である著者のユニークな考え方が記されています。本書のタイトルになった「ティーパーティ」での逸話はお聞きになったことがあるかも知れませんが、難しい数式は一切出てきません。ファインマン先生のユーモア溢れる人柄に触れてみてください。なお、ご自身の名前に冠した物理学の専門書も有名です。



価値と資本(上・下)

ジョン・リチャード・ヒックス(安井琢磨・熊谷尚夫 訳) 岩波文庫 上巻800円/下巻760円

現代マイクロ経済学の基礎を築きノーベル賞を受賞したヒックスの著。難しくはなく内容は古びてはいない。翻訳とはいえ教科書ではなく原典で学ぶ喜びが味わえる。

経済発展の理論(上・下)

ヨーゼフ・シュムペーター(塩野谷祐一・中山伊知郎・東畑精一 訳) 岩波文庫 上巻900円/下巻780円

経済発展を非連続的な現象と捉え、「新結合」を遂行する企業者が発展の原動力となると論じた。経済を発展させる力が、経済に内在するという主張が大きな影響力を持った。

国富論(全3巻)

アダム・スミス(大河内一男 訳) 中公文庫 (1)1,048円/(2)876円/(3)952円

産業革命黎明期の英国を分析することによって、一国の富を最大化させる原理が資本主義的な市場メカニズムに存在することを明らかにした経済学の古典。

アイデアのつくり方

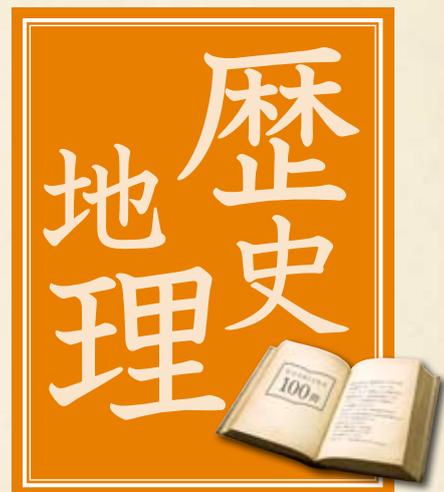
ジェームズ・W・ヤング IBCパブリッシング 800円

著者は米国最大の広告代理店の最高顧問。〈アイデアをどうやって手に入れるか〉という質問への解答がここに。本文はわずか50ページならず、1時間もあれば読み切れる、お得な1冊。

雇用、利子および貨幣の 一般理論(上・下)

ジョン・メイナード・ケインズ(間宮陽介 訳) 岩波文庫 上巻980円/下巻800円

誰もが知るケインズの代表作で、経済学だけでなく、政治、社会にも大きな影響を与えた名著。大学生のうちに一度はぜひ読んでもらいたい本。



坂の上の雲(全8巻)

司馬遼太郎 文春文庫 5,215円

俳人・正岡子規と軍人の秋山兄弟を主人公にした長編歴史小説。後半は日露戦争の描写が主となるが、明治維新を経て「近代国家」を目指した日本について、理解を深める一助となる。

アジア史論

宮崎市定 中央公論新社 1,450円

とかく人びとは自分の国または地域からの歴史観で世界史を語りがちである。本書はより大きな視点から「歴史のものの見方」を教えてくれる。

氷川清話

勝海舟 講談社学術文庫 1,180円

勝海舟という聡明な人の言葉を通して、新島襄が無事に渡米できた理由や山本覚馬が薩摩藩邸で殺されなかった理由を理解することができます。知的好奇心は宝です。

アメリカ史のアイロニー

ラインホルド・ニーバー(大木英夫・深井智朗 訳) 聖学院大学出版会 3,800円

キリスト教の視点から、第二次大戦後に超大国となったアメリカの課題を論じたもの。外部の敵よりも、自らの強さによる内的腐敗や傲慢の危険を説いている。著者は「全てのリアリストの父」とさえ呼ばれ、「アイロニー(皮肉)」と「悲哀」、「悲劇」を見事に分類している。

ローマ帝国衰亡史(全10巻)

エドワード・ギボン(中野好夫 訳) ちくま学芸文庫 13,900円

あれほど栄華を極めたローマ帝国はなぜ滅びたのか。優れた過去と対話しながら、人間の強さと弱さの全てを華麗な筆で書き出す歴史書の傑作。

個性を認め合い、 全員の能力を高める。

ビジネスの視点から異文化 コミュニケーションを学ぶ

2011年、同志社大学13番目の学部として誕生したグローバル・コミュニケーション学部は、英語コース、中国語コース、日本語コースから成る。その中で、英語コースはグローバル社会に欠かせない高度な英語の実践運用能力を育成するコ

スだ。2年次には全員がStudy Abroadに出るのをはじめ、社会に出てからの自分をイメージしながら多文化状況におけるコミュニケーション能力と教養を身に付けていく点に学びの特徴がある。

ゼミは、Study Abroadから帰国した3年次の春学期から始まる。竹田ゼミのテーマは、グローバル・ビジネスと異文化コミュニケーション。竹田先生にゼミの進め方を聞いた。

「3年次の春学期は、基礎的なビジネスコミュニケーションについて日本語のテキストを使って輪読したり、日経新聞のモニタリングと呼んでいます。毎週対象となる記事と担当者を決めて全員でディスカッションします。秋学期からは広範なグローバル・ビジネスのコミュニケーションについての課題を扱った英語の専門書を使い、4年次の前半はマネージメントの視点か

ら書かれた専門書を輪読。春学期の後半からは、それぞれのゼミ論文作成に向けて取り組みます」

ゼミ生に身に付けてほしいことは、「語学力はもちろん大切ですが、異なった文化の人たちとコミュニケーションして理解を深めるためには、やはり論理的にもう一つ大切なことは『マインド』です。違いがあることを認識したうえで、相手を開かれた心で受け入れ、相手の立場でものごとを考えていくことが大事です」と、論理的な思考と心で話をすることの両方を兼ね備えることを目指す。

実践的な海外研修や 他大学との合同ゼミ

取材の日は、グローバル・コミュニケーション学部の第1期生であり、最初の卒業生となる4年次生12人のゼミ授業。英語



コースのゼミ論文は英語で提出することもある。3年次までは日本語で行われていたプレゼンテーションやディスカッションが、全て英語で行われる。発表者の4人は、それぞれが担当セッションを分担し、聞いている学生にも意見を聞いたり、チームに分かれてディスカッションする時間

竹田宗継

「グローバル・コミュニケーション学部
准教授」





を設けたりと、会話による双方向のコミュニケーションで笑顔が絶えず、1時間半が短く感じられた。

ここからは、発表を終えた4人のゼミ生に話を聞いた。

「資料を読み込んで、どこが重要なポイントなのかを、聞く人に分かりやすくイラストを作成したり、YouTubeの動画も使ったりして一人ひとりの印象に残るように工夫しました」と教えてくれたのは大槻容子さん。「コミュニケーションを学ぶことができたなら、自分の英語能力をビジネスの現場で生かせるのではないかと考え、竹田ゼミを選んだと言う。

大手電機メーカーで長年、海外勤務の経験を持つ竹田先生は、自らの体験からグローバルビジネスの現場でコミュニケーションを実践的に学ぶことが重要と

考え、海外研修や他大学との合同ゼミなどを実施。3年次の海外研修では、シンガポールの日系大手企業3社とベンチャー企業を訪問した。「目的は2つありました。1つ目は、世界経済の中心となりつつあるアジアで日系企業がどれほど幅広く事業を展開しているかを、それぞれの企業においてヒアリングすること。もう1つは、多

民族国家であるシンガポールで、異文化コミュニケーションの課題について話してもらい、現地のマレー系、中華系、インド系社員の方々にも参加してもらって、英語でディスカッションすることです。その中で、彼らがどう感じているのか、難しい問題についても聞くことができました」

「今まで勉強してきた文化の違いによる問題が実際に起こっている現場で、リアルな声を聞いたことはとても勉強になりました」と言うのは、清水美那さん。

関西学院大学と関西大学との合同ゼミ大会では、グループごとに仮想の国をつくり、貿易ゲームで競った。「同じ国際ビジネスコミュニケーションを勉強しているといても、他大学は商学部でゼミで専門的な知識があるのでドキドキしました」と言う清水さんに、「うちの学生が一番目立っていたけどね」と笑う竹田先生。この笑顔のコミュニケーションも、「ビジネスシーンでは欠かせないことです」と竹田先生は言う。

実践的な学びを 自らの考えで将来に生かす

これまでの学びから、どんなことが身に付いたと実感しているのだろうか。まず、卒業後は英語を人のために生かしたいと考えている門澤愛さんは、「自分がどういう人間なのかを改めて意識する機会を得ました。自分を確立した上で、海外や日本で

あることには関係なく、相手を受け入れる能力が身に付いたと思います」と言う。嶋津あすかさんは、「グローバル社会で多様な文化を持つ人たちと関わる時に、まず偏見を持たないこと、自分をゼロにすることを学んだと思います。それは日本で働く上でも大事なことで、当たり前のことなのかもしませんが、竹田ゼミに入って改めて感じたことです」と答えてくれた。

4年次生が就職活動を進める中、各々のグローバルの捉え方によって選ぶ仕事異なる点に興味深い。損害保険会社に就職する大槻さんは「日本企業の海外進出する機会が増える今、そんな企業を支える仕事ができると思いた」と言い、自動車メーカーに就職する門澤さんは「日本の技術を外へ売り込む力と、日本の技術を生かして海外のニーズに合ったものをきちんと提供するために、ゼミで学んだことが生かせると思います」と言う。教育関連企業に就職する嶋津さんは「少子化の時代ですが、真のグローバル人材を育成するには英語が大事。世界の中で、日本の国自体が生き残っているためにも教育に携わりたい」と考えたことが、志望の理由だ。ITベンチャー企業に就職する清水さ

んは、ITが生み出す世界を「物理的な距離のないグローバルな世界」と捉えており、「ゼミで学んだ文化や価値観の違いを生かしながら、将来は自分の考えたWebサービスを海外にも展開していきたい」と語る。輝く瞳で自分の将来を語るゼミ生の話をも、頼もしそうに聞いていた竹田先生は「みんなどこに出しても恥ずかしくない、素晴らしい学生です」と微笑んだ。



同志社大学で初めて見いだされた マイクロ流体現象を解明し、 社会に役立つ応用展開を目指す

管径方向分配現象
研究センター

塚越 一彦

【理工学部教授】



同志社大学理工学部化学システム創成工学科計測分離工学研究室が、世界で初めて見いだしたマイクロ空間内における新たな流体挙動。管径方向分配現象(Tube Radial Distribution Phenomenon : TRDP)と名付けた、従来の研究の定説を覆した発見を、様々な学問領域及び工業化・産業化の視点から幅広く研究し、その遂行を通して研究員や学生の研究活動の高度化・学際化・グローバル化を推進するために2012年7月、「管径方向分配現象研究センター」が発足した。TRDPが同志社大学で見いだされ、同志社大学から世界に情報発信されていることを明確に位置づける役割をも担うセンターの活動内容、主眼とする研究について、センター長の塚越一彦理工学部教授に伺った。

管径方向分配現象とは

まず「管径方向分配現象」というものについて説明しておきましょう。私たち計測分離工学研究室が世界で初めて発見した現象ですから、それまでは誰も見たことがないし、もちろん教科書にも載っていません。学会などで説明してもなかなか理解していただけない。そもそも管径方向分配現象研究センターを設立したのは、その概念を世界の研究者に広く知ってもらいたいという意図が大きいのです。

管径方向分配現象とは、1000マイクロン以下の極細空間、髪の毛の太さよりも細かい空間を流体が流れていく際に起こる現象です。そのマイクロ空間にある種の混合溶液を流し、一定の圧力を加えると、流れの中で液-液界面が生じます。内側の層と外側の層の2つの流れが生まれ、そこに界面が生じる。界面というのは、例えば水と油が交じり合った場合、溶け合わずに2層に分かれる。その境界のことをいうのですが、そこには科学的にいろんな興味深い要素があるのです。新しい反応が起こったり、新しい分子間の配列が起こったりします。その界面がマイクロ空間で生じる。しかもそこには流れがあり、内側と外側に層を作り出す。私たちはこの現象を2009年に計測分離工学研究室で見いだすことに成功しました。それまで誰も作り出すことができなかった現象を作り出した。その意味



では特異的な発見であり、間違いなく世界初だと思えます。そして、その研究の輪を広げる目的で、多くの方々のご支援のもとに、設立したのが当研究センターです。このマイクロ空間内の新しい流体挙動を管径方向分配現象(μRD)と名付け、学問的にもまた技術的にも体系化していくことを、当センターでは目指しています。

界面の現象解明から機能発現へ

では、どうしてこうした現象を起こすことができるのか、今まで誰も見いだせなかったことがなぜできたのか。その界面の現象を解明することが、現在のセンターの大きな柱になっています。そこでは流体力学や化学、工学などいろんな要素を盛り込んで、どうしてこうした現象が起こるのかを調べています。一方、この界面を利用してどう機能

を発現させて応用面に持っていくかということも研究課題です。私たちは管径方向分配現象の解明と機能発現と言っていますが、解明というのはなぜこういうことが起こるのかを調べることで、そして機能発現は応用ということになってきます。応用にはクロマトグラフィーあるいは抽出という分離の手段、あるいは混ぜるという混合方法、そして界面を使っている反応という方法があります。現在、クロマトグラフィーは Tube Radial Distribution Chromatography (TRDC)、抽出はエクストラクションですから、Tube Radial Distribution Extraction (TRDE)、混合はミキシングですから、Tube Radial Distribution Mixing (TRDM)、反応はリアクションと反応、Tube Radial Distribution Reaction (TRDR)と、それぞれ名前を付けて、TRDPを利用した新しい技術開発を進めているところです。

医薬品合成への応用に期待

センター開設当初は管径方向分配現象への理解をより広め、認知度を高めることを目的としていましたが、発見以来50報近くの学術論文を公表し、それらをまとめた総合論文を欧文誌(Invited review)と邦文誌に発表しました。昨年9月には「Analytical Sciences」という学術雑誌から「Most Cited Paper Award of Analytical Sciences 2012」を受賞しています。これは2010年から2011年にかけて「Analytical Sciences」に掲載された学術論文の中で、最も多く引用された論文に与えられるものです。こうして徐々に地固めができてきたので、今後は積極的にそれが実際どう使えるのか、応用研究をしながら現象をしっかりと押さえるという段階に入っていきます。研究組織を広げながらいろんな先生方と共同で、これまでに学際領域だけではなく社会に役立つような研究へと展開できればと思っています。具体的にはどんな分野への応用が期待できるのか。さらなる展開の可能性をキーワードで示すと、環境、エネルギー、医学、医療、創薬、新規学問領域、新技術開発ということになるかと思えます。中でも応用の可能性が大きいのが、医薬品の合成です。マイクロ空間の内部を内側と外側の2



層に分かれて流れていくわけですから、緊密な溶液を流し、内側と外側の層に分離させ、内側に分配する化学物質だけを選択的に取り出すことが可能になります。従来の抽出とは違う溶媒の分離ができることになるのです。

センターの今後の計画としては、2017年3月までの5年間の設置期間が終了すれば、そこからさらに第2ステージという方向で考えていきたいと考えています。予算規模的にももう少し大きな研究組織にして、知恵を絞りながら、新しい現象から新しい応用展開へつなげていきたいと思っています。

データでみる 2013年度就職戦線

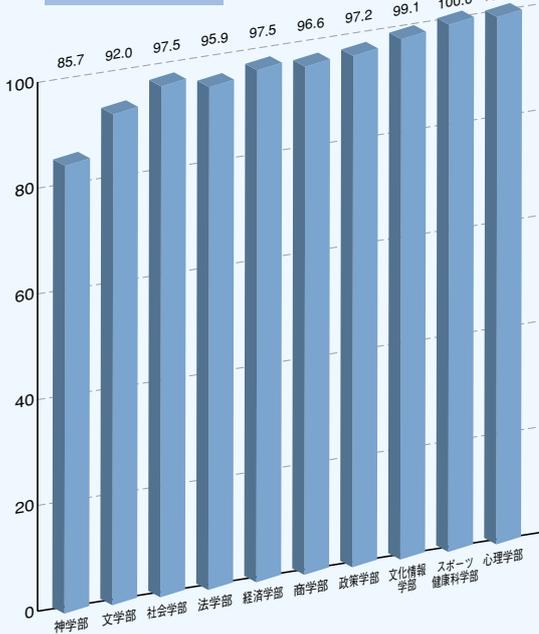
同大生の

2013年度の就職状況は、景気の回復基調もあって就職率97.5%とリーマンショック後で最も高い数字となりました。その一方で、社会のニーズが多様化する中、企業は今後ますます、外国語運用能力、情報活用能力、人間関係を結ぶコミュニケーション能力、さらには問題発見解決能力など、自ら考え行動し成果を上げることができる潜在能力を持った自立した人材を求めています。このような変化の中で、皆さん自身がより高いキャリアを形成するためには、目的を持ち勉強やクラブ活動に充実した大学生活を送ることや、**インターンシップ(注1)**など学外の体験学習を通じて社会の動きを理解することが大切になります。

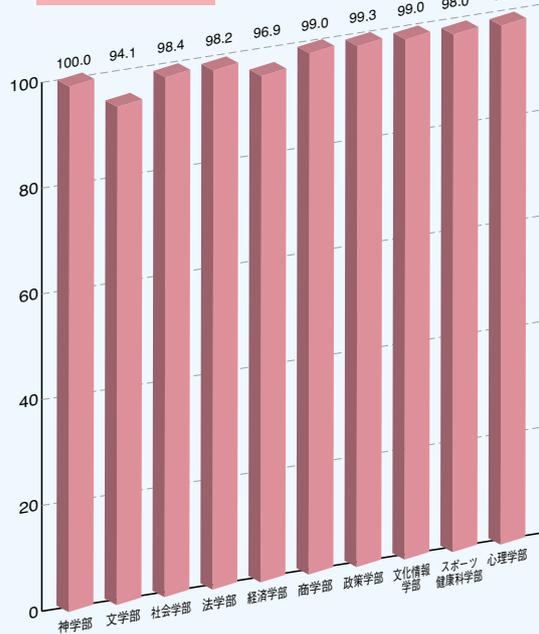
■就職率

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者数}}{\text{就職希望者数}}$$

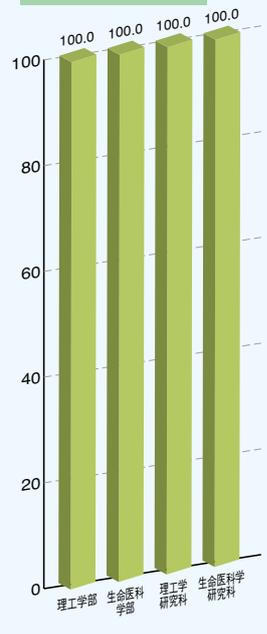
文科系学部／男子



文科系学部／女子



理工系学部・研究科



■主な就職先と人数

会社名と人数

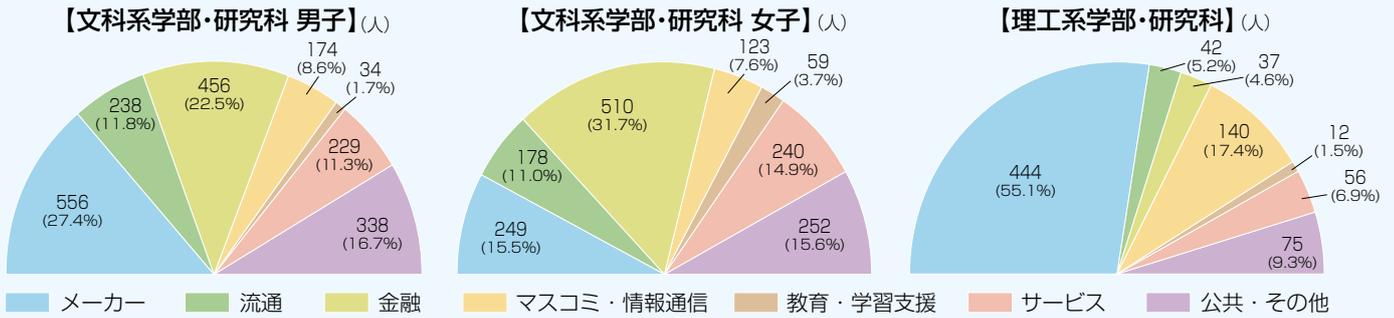
文科系

株式会社三菱東京UFJ銀行	58
日本生命保険相互会社	57
株式会社三井住友銀行	51
国家公務員(一般職)	35
株式会社京都銀行	34
京都中央信用金庫	30
みずほフィナンシャルグループ	25
野村證券株式会社	23
株式会社大和証券グループ本社	22
株式会社ニトリ	21
三井住友海上火災保険株式会社	20
東京海上日動火災保険株式会社	18
京都市	17
株式会社滋賀銀行	17
株式会社南都銀行	16
SMBC日興証券株式会社	16
三菱UFJ信託銀行株式会社	16
株式会社りそなホールディングス	16
国税専門官	15
三井住友信託銀行株式会社	15
株式会社関西アーバン銀行	14
ソフトバンクグループ	14
株式会社福岡銀行	14
株式会社LIXIL	13
大和ハウス工業株式会社	13
みずほ証券株式会社	13
株式会社エイチ・アイ・エス	12
三菱電機株式会社	12
イオンクレジットサービス株式会社	11
イオンリテール株式会社	11
株式会社エヌ・ティ・ティ・マーケティング	11
株式会社池田泉州銀行	11
全日本空輸株式会社	11
株式会社西日本シティ銀行	11
株式会社百五銀行	11
パナソニック株式会社	11
株式会社かんぽ生命保険	10
京都信用金庫	10
株式会社百十四銀行	10
明治安田生命保険相互会社	10
アメリカンファミリー生命保険会社	9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	9
大阪市	9
株式会社近畿大阪銀行	9
株式会社商工組合中央金庫	9
株式会社静岡銀行	9
住友生命保険相互会社	9
第一生命保険株式会社	9
日本電気株式会社	9
三井住友カード株式会社	9
日本郵便株式会社	9
株式会社ゆうちょ銀行	9

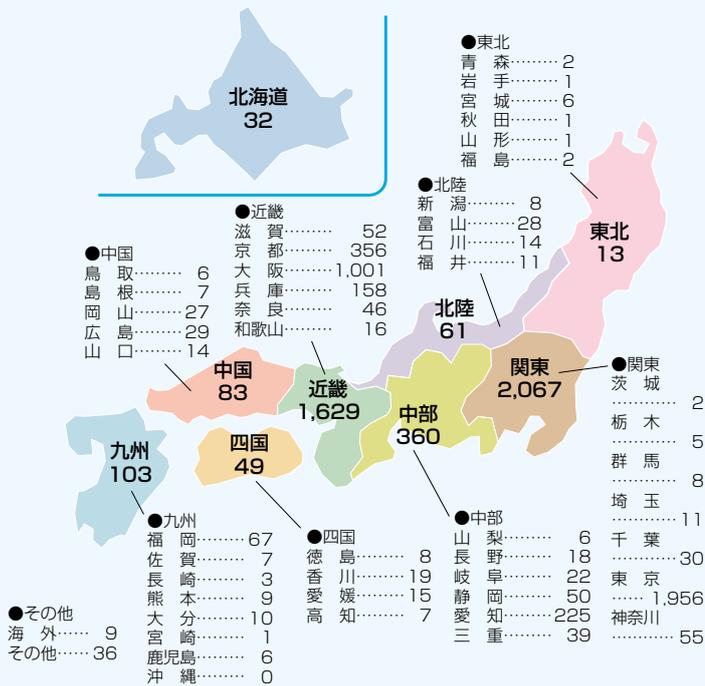
理工系

トヨタ自動車株式会社	10
三菱電機株式会社	10
スズキ株式会社	9
株式会社日立製作所	9
ダイキン工業株式会社	8
パナソニック株式会社	8
関西電力株式会社	7
TIS株式会社	7
株式会社野村総合研究所	7
大塚製薬株式会社	6
三菱自動車工業株式会社	6
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	5
株式会社NTTドコモ	5
川崎重工業株式会社	5
中部電力株式会社	5
株式会社豊田自動織機	5
東海旅客鉄道株式会社	5
日産自動車株式会社	5
西日本旅客鉄道株式会社	5
株式会社三菱東京UFJ銀行	5
京セラ株式会社	4
九州電力株式会社	4
株式会社小松製作所	4
株式会社東芝	4
TOTO株式会社	4
日本電気株式会社	4
株式会社日立システムズ	4
本田技研工業株式会社	4
株式会社村田製作所	4
株式会社リコー	4
旭硝子株式会社	3
アイシン精機株式会社	3
株式会社工クセディ	3
株式会社クボタ	3
株式会社神戸製鋼所	3
コベルコシステム株式会社	3
積水ハウス株式会社	3
東レ株式会社	3
株式会社LIXIL	3
トヨタ車体株式会社	3
東ソー株式会社	3
DIC株式会社	3
株式会社デンソー	3
ニッセイ情報テクノロジー株式会社	3
ニチユ三菱フォークリフト株式会社	3
株式会社日立メディコ	3
ブラザー工業株式会社	3
株式会社マキタ	3
ヤンマー株式会社	3
YKK AP株式会社	3

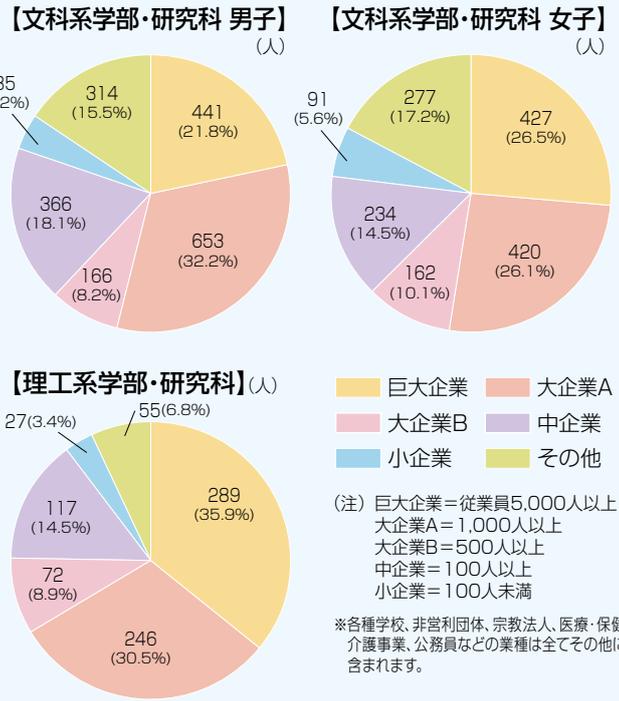
■業種別内定状況



■地区別内定状況 (人)



■従業員規模別内定状況



※データは2013年度確定数

(注1) インターンシップ

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。本学では正課科目「キャリア形成とインターンシップ」を開講しています。学生が大学で学んだ社会の諸課題と、その問題解決に向けての考え方、専門知識・理論との統合をはかり、その経験を通じて、より高い学習意欲を喚起しています。同時に、仕事、職業に対する興味・関心を高め、自らの適性や適職を考える大きな契機となることを願っています。その他にも企業主導型(公募制)のインターンシップもあり、キャリア支援システム[e-career](<https://career.doshisha.ac.jp/>)でその一部を紹介していますので参考にしてください。

参加者の感想



自分がどのような職に就くようになったとしても、大切なのはその環境の中で自分が何をすべきか何ができるのか考え、実行に移していくことが重要だと改めて気づくことができました。企業分析なども大事ですが、それよりも今の時期に自分を見つめ直し成長できる機会を、インターンシップ研修を通じて得ることができたので、これからの就職活動を含め学生生活に活かしていきたいと強く思うようになりました。

実習の経験を活かして、もう一度「自分は将来何をしたいのか」、「どんな企業で働きたいのか」、「どのようなキャリアを歩むのか」ということを考え直したいと思います。これらの問いに関して私は自分なりに考えてきたつもりでした。しかし、今回のインターンシップで様々な経験をすることで、自分の将来に対する甘さを認識しました。

このインターンシップの経験は非常に有意義なものでした。今振り返ってみると、参加してよかったという思いに満ちあふれています。実際に会社でインターンシップを行うことで、自分と社会人との違いが明確にわかり、自分がまだ学生としての甘えがあると深く感じることができました。また、この実習の中で自分いかに知識がなく、相手に伝える力が欠如しているかわかったことも大きな成果です。

毎日が新鮮な出来事で溢れていて、自分が知り得なかった世界にどんどん踏み入っていく感覚が楽しかったです。全部で12日間あった実習ですが、あっという間でした。消極的な自分を積極的な自分に変えていこうと思い参加したインターンシップでしたが、その目的も達成できたように思います。

今回の体験は絶対に無駄ではないと言い切れます。いろんな体験ができたこともそうですが、何よりいろいろな方と出会い、会話できたことが貴重な経験となりました。普段話さないような方と話すことで、その人の考え方に触れ、自分の価値観を広げることができ、とてもよかったです。

グローバル化や少子高齢化などが国の社会構造が急速に変化する中、変化に適應する能力を有し、グローバル社会で活躍できる人物や地域社会の活性化を担う人物の育成が大学に強く求められています。一方で、教育の質を保證するために国の政策は規制緩和から淘汰の時代へと轉換されつつあり、私立大学の経営環境は年々厳しさを増しています。本学はこれからも、財政基盤の安定化を図りながら、社会の動向や学生のニーズを的確に捉え、建学の精神に基づく特色ある教育研究を着実に推進していかなければなりません。

2014年度は、グローバルMBAコースを發展・充実させた「ビジネス研究科グローバル経営研究専攻修士課程」を設置します。また、「リーディング・プログラム(GRM)」の展開と合わせ、グローバルに活躍するリーダーの教育を実践していきます。「国際化拠点整備事業」は、補助事業期間終了後も予算措置を継続し、「グローバル人材育成推進事業」は、学部との協力を得ながら引き続き推進していきます。

2014年度予算では、インフラ系情報システムのリプレースや、京田辺校地では、宗教教育施設や学習支援環境の充実に向けた取り組みを実施します。課外活動支援では、2校地間バスの増便や体育施設の夜間照明設備整備を行い、学生の利便性を高めます。また、広報活動の一層の強化や社会との連携の深化、迅速な企画力の向上などにも努めます。その一方で、経常的経費については、引き続き抑制に努め、既存の施設設備の整備は、特に緊急性の高い事業を優先的に計上します。また、将来の整備事業に充当する第2号基本金を計画通り組み入れます。以上の方針のもと、計画性を重視して限られた財源を効率的に配分することを大原則に予算を編成しています。

収入の部

学生生徒等納付金は、新設学部の年次進行に係る収納があるものの、当初予算では新入生を入学定員通りで見込んでいたため、前年度に対して5億5千万円減の312億6千万円を計上しています。これ以外の収入については、確実に収入が見込めるもののみを計上しているため(主な増減理由は表1に注記)、**帰属収入合計は387億2千万円**となり、前年度予算に対して16億8千万円の減収となっています。

第2号基本金取崩額は研究装置の取得資金1億円のみ計上しています。

当期固定資産除却額17億円は、固定資産(機器備品)の償却期間完了によるものです。

特定支出準備金取崩額の内訳は、国際連携推進事業など使途特定準備金の取崩額です。

収入の部合計は407億7千万円となり、前年度予算に対して26億5千万円の減少となります。

教育研究条件の充実
相互啓発による創造的学力カリキュラム (社会学部・社会学研究科)
社会福祉教育・研究支援センター事業 (社会学部・社会学研究科)
企業法務プロフェッショナルの育成(法学部・法学研究科)
入学前課題実施(商学部・商学研究科)
高大連携教育プログラム実施(商学部・商学研究科)
ソーシャルイノベーターの養成(政策学部・総合政策科学研究科)
政策提案能力を養う理論と実践との交流教育事業 (政策学部・総合政策科学研究科)
教育・研修プログラムと地域公共人材大学連携事業 (政策学部・総合政策科学研究科)
文理融合型教育による課題解決能力の育成事業 (文化情報学部・文化情報学研究科)
語学力向上及びインターンシップの促進 (理工学部・理工学研究科事務室)
英語によるプレゼンテーション能力向上及び 海外インターンシップの促進(理工学部・理工学研究科事務室)
研究センター連携型オープンフィールド教育事業 (心理学部・心理学研究科)
司法研究科の教育支援 (アカデミック・アドバイザー制度充実、判例法令DB整備他)
京田辺キャンパス礼拝堂整備及び献堂記念講演会開催 (キリスト教文化センター)
PBL推進支援センター事業
CASEC導入
先端的教育研究拠点の基盤整備

支出の部

人件費は、新規採用による職員の増員等により、前年度に対して1億5千万円増の201億8千万円を計上しています。

事業費は、表1では教育研究経費(減価償却額を除く)、管理経費(同左)、施設関係支出、設備関係支出及び予備費に仕訳されていますが、全体では対前年度比3億2千万円減の総額187億1千万円を計上しています(事業別予算額は表2参照)。**経常的経費**については前年度予算を基準として計上し、**管理経費**については一部の重点項目を除いて極力節減を図っています。**建設事業**では、今出川校地において神学館耐震改修事業等、京田辺校地において複合的研究施設及び宗教施設建設等があり、特別事業費が1億9千万円増加しています。

徴収不能引当金繰入額1億3千万円は、学費及び学資貸付金の徴収不能見込額に対する引当金に繰り入れる額です。

教育研究環境の整備
教室マルチメディア環境整備
教室マルチメディア機器リプレース
会議室AV機器整備
ラーニング・commons関連整備
AV教卓ICカード化によるキーレス利用の実現
マルチメディアラウンジシステムリプレース
システムリプレースに伴うソフトウェア更新
新情報システム用VDAライセンス
ウィルス対策ソフト管理システム統合
教室PCシステムリプレース
教室PC貸出ロッカー
2校地間移動無料シャトルバス増便
障がい学生就職支援
電子情報資源管理ツールの導入(図書館)

企画広報活動・管理運営
既存学部・大学院等の広報充実
京都及び同志社を首都圏で発信する講座の実施
ICカード発行管理システムサーバ移行
全学ネットワークシステムリプレース
ユーザ管理システムリプレース
公式webサイト改ざん検知の強化
教務システム構築
財務システム構築
就職システム更新
大型計算機システム改修業務委託
地域戦略広告
「志」コンテスト仙台
全国紙広報及び週刊東洋経済による情報発信

繰入金4億円は、法人内諸学校への資金調達額などを計上しています。

第2号基本金組入額12億円は、大学教学施設設備整備資金として理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は451億3千万円となり、前年度予算に対して11億4千万円の減少となります。

収支差額の部

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた**当年度消費収支差額は、43億7千万円**の消費支出超過となります。消費支出準備金を取り崩すことにより、最終的には42億6千万円の消費支出超過となります。

(本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています)

同志社ギャラリー運営業務委託
リブランディング事業
ペーパーレス会議システムの導入
新島渡航150周年記念事業
東京・福岡での入学試験実施、春期入学試験の実施(司法研究科)

施設設備の整備及び維持管理
今出川キャンパス発掘調査出土遺物の整理作業
今出川校地トイレ改修
継志館濾過装置更新
頌真館サーバ室電源工事
非常用発電機回線工事

建設事業
神学館 耐震改修工事(今出川)
継志館 プール天井改修工事(今出川)
継志館 中央監視盤更新工事(今出川)
啓明館 空調機器改修工事(今出川)
育真館 照明設備改修工事(今出川)
図書館 昇降機更新工事(今出川)
明德館 段差解消用昇降機更新(今出川)
知真館1、2号館 トイレ改修工事(京田辺)
有徳館西館 冷暖房機更新工事(京田辺)
夜間照明工事(京田辺)
恵道館 冷暖房機更新工事(京田辺)
IC化に伴う出入管理整備工事(京田辺)
PBX・幹線増設工事(京田辺)
知真館3号館 昇降機更新工事(京田辺)
リチャーズハウス 昇降機更新工事

2014年度収支予算書 (表1)

2014年4月1日から2015年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部				
科目	予算	前年度予算	増減	主な内訳または増減理由
学生生徒等納付金	31,264,760	31,818,150	△ 553,390	新入生について入学定員通り計上
手数料	1,732,200	1,732,200	0	入学検定料等
寄付金	185,700	244,220	△ 58,520	寄付教育研究プロジェクト研究活動あて寄付金等、収納が確実なもののみ計上
補助金	3,442,940	4,140,430	△ 697,490	経常費補助金、国際化拠点整備事業費補助金等、収納が確実なもののみ計上
資産運用収入	492,040	548,380	△ 56,340	
資産売却差額	0	0	0	
事業収入	355,400	623,900	△ 268,500	企業からの研究受託に係る受託事業収入等、収納が確実なもののみ計上
雑収入	746,000	845,680	△ 99,680	退職金財団交付金収入等、収納が確実なもののみ計上
繰入金	343,430	332,820	10,610	法人内諸学校からの資金調達額の返済額等
分担金	160,680	119,320	41,360	法人内諸学校からの法人業務に係る分担金
帰属収入合計	(38,723,150)	(40,405,100)	(△ 1,681,950)	
第2号基本金取崩額	120,000	100,000	20,000	研究装置の取得資金に充当
当期固定資産除却額	1,720,400	2,764,720	△ 1,044,320	2004年度取得固定資産の一括除却等
借入金等収入	0	0	0	
当期末未払金	0	60,300	△ 60,300	
基本金当年度組入額、未組入額計	(1,840,400)	(2,925,020)	(△ 1,084,620)	
特定支出準備金取崩額	202,460	83,340	119,120	国際連携推進事業に係る準備金の取崩額等
収入の部合計	[40,766,010]	[43,413,460]	[△ 2,647,450]	

支出の部				
科目	予算	前年度予算	増減	主な内訳または増減理由
人件費	20,182,500	20,030,050	152,450	新規採用による職員の増員等
教育研究経費	16,730,400	16,250,840	479,560	主な新規事業参照
消耗品費他	12,727,330	12,295,990	431,340	
減価償却額	4,003,070	3,954,850	48,220	
管理経費	1,614,180	1,634,210	△ 20,030	主な新規事業参照
消耗品費他	1,444,310	1,462,410	△ 18,100	
減価償却額	169,870	171,800	△ 1,930	
借入金等利息	4,440	7,390	△ 2,950	借入金残高の減少
資産処分差額	7,470	147,270	△ 139,800	
徴収不能引当金繰入額	132,830	152,020	△ 19,190	
繰入金	435,040	675,020	△ 239,980	法人内諸学校への資金調達等
予備費	240,000	120,000	120,000	経理規程(経常勘定における帰属収入の7/1000以上を計上)に基づく
消費支出合計	(39,346,860)	(39,016,800)	(330,060)	
施設関係支出	3,037,290	2,718,470	318,820	主な新規事業参照
設備関係支出	1,257,630	2,428,370	△ 1,170,740	主な新規事業参照
借入金等返済支出	143,870	206,080	△ 62,210	
前期末未払金	55,090	91,400	△ 36,310	
第2号基本金組入額	1,200,000	1,200,000	0	計画に基づき大学教学施設設備整備資金の組入額を計上
第3号基本金組入額	0	235,000	△ 235,000	
第4号基本金組入額	40,400	160,900	△ 120,500	学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金組入額、当年度組入額計	(5,734,280)	(7,040,220)	(△ 1,305,940)	
特定支出準備金繰入額	52,560	218,840	△ 166,280	
支出の部合計	[45,133,700]	[46,275,860]	[△ 1,142,160]	

収支差額の部			
科目	予算	前年度予算	増減
当年度消費収支差額	(△ 4,367,690)	(△ 2,862,400)	—
消費支出準備金繰入額	0	0	—
消費支出準備金取崩額	107,360	2,179,170	—
繰入取崩後消費収支差額	(△ 4,260,330)	(△ 683,230)	—
前年度繰越消費収支差額	[△ 34,947,370]	[△ 34,264,140]	—
翌年度繰越消費収支差額	[△ 39,207,700]	[△ 34,947,370]	—

事業別予算書 (表2)

(単位：千円)

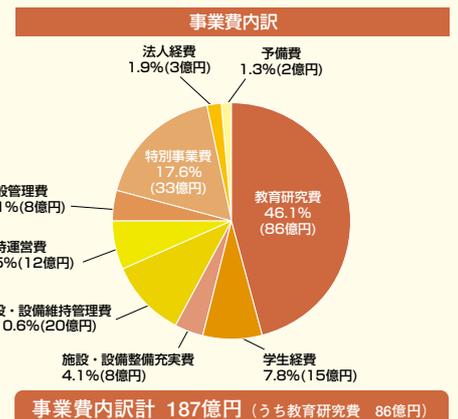
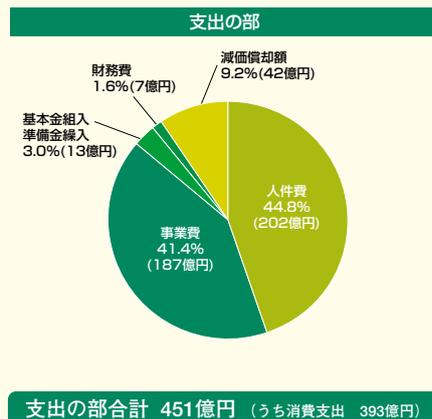
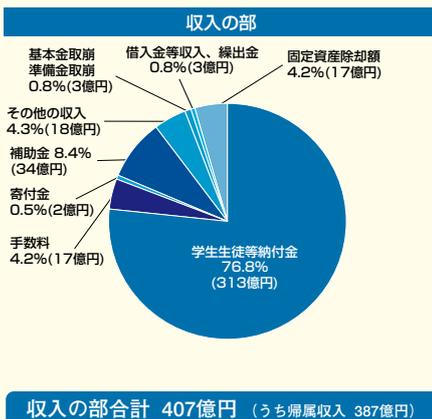
事業別予算総括表	
事業項目	予算
人件費	(20,182,500)
事業費	(18,706,560)
基本金・準備金	(1,348,050)
財務費	(723,650)
減価償却額	(4,172,940)
支出の部合計	[45,133,700]

事業費内訳	
事業項目	予算
教育研究費	(8,621,600)
研究所経費	1,899,700
研究経費	114,550
実験実習費	774,110
教育研究援助費	1,304,450
情報処理教育研究費	1,491,050
学術情報整備充実費	516,180
国際交流関係費	993,050
入学試験経費	613,490
教学事務運営費	915,020
学生経費	(1,454,520)
奨学援助費	833,410
学生生活助育費	519,780
学費	101,330
施設・設備整備充実費	(763,330)
施設・設備維持管理費	(1,987,950)
維持運営費	(1,217,680)
一般管理費	(774,760)
一般管理費	590,720
教職員福利厚生費	184,040
特別事業費	(3,296,710)
新設学部・研究科関連経費	(0)
法人経費	(350,010)
予備費	(240,000)
事業費小計	[18,706,560]

基本金・準備金内訳	
事業項目	予算
第2号基本金組入額	(1,200,000)
第3号基本金組入額	(0)
第4号基本金組入額	(40,400)
翌年度基本金組入額繰延額	(0)
前期末未払金	(55,090)
特定支出準備金繰入額	(52,560)
基本金・準備金小計	[1,348,050]

財務費内訳	
事業項目	予算
借入金等返済支出	(143,870)
借入金等利息支出	(4,440)
資産処分差額	(7,470)
徴収不能引当金繰入額	(132,830)
繰入金	(435,040)
財務費小計	[723,650]

収支構成図



新入学生歓迎特別講演会

宮本慎也氏(野球解説者) 球道即人道

「野球から学んだリーダーシップ」

この講演会は、新入学生にスポーツや芸術、文化等の様々な分野の第一線で活躍をされている人物に触れる機会を提供し、今後の学生生活を自分らしく有意義に送るきっかけ作りを目的として毎年開催しています。

今年4月14日寒梅館ハーディーホールで、「球道即人道」野球から学んだリーダーシップ」という演題で、本学商学部卒業生の野球解説者宮本慎也さんにご講演いただきました。宮本さんは、大学2年次生の秋に大学日本一に輝かれた後、プリンスホテルを経て、1994年にヤクルトスワローズに入団。スワローズでは19年間プレーをされ、41歳5か月の最年長記録でプロ通算2,000本安打を達成し名球会入りされました。2013年に現役引退後は、野球解説者として、テレビ、新聞など多くのメディアで活躍されています。

ご自分の野球人生を振り返りながら、多くの指導者や先輩などの叱咤激励により、成長させてもらったと語られました。PL学園高校では、中村順司監督に宮本さんの座右の銘



である「球道即人道」の精神、すなわち、日常生活が野球のプレーに直結するから、日常生活をきっちりしなければいけないこと、同志社大学時代には、野球のうまくない部員が大学野球でのたった一打席、たった一球のために必死になって練習している姿に感銘を受けたこと、そして、ヤクルトの野村克也監督に「言い訳は進歩の敵」と教えられたことなどをユーモアたっぷりに語られました。

当日は約500人の来場者があり、「人生の価値観が変わった」「宮本さんの人間性を見習い、気配りができる人間になりたい」などの感想が多数寄せられ、盛況のうちに講演会は終了しました。

(今出川校地学生支援課)

新入学生歓迎特別講演会

林修氏(東進ハイスクール東進衛星予備校・現代文講師) 大学生に「今」伝えたいこと

テレビCMで広まった「いつやるの?」「今でしょ!」のフレーズによって昨年度のユニキャン新語・流行語大賞を受賞した東進ハイスクール講師、林修さんの講演会(学生支援課主催)を4月17日、京田辺校地ハローホールにて開催しました。千人以上が押しかけ入場制限される中、何とか入場できた約六百人の学生たちを前に、林さんは笑いを交えながら熱く語りかけました。



講演は、社会人と学生の違いから始まり、社会に必要なコミュニケーション

力とその養い方、今必要なものととらないもの、今のうちに学ぶべきこと、そして自分流に独自のものを身に付ける、ということなどが例えを用いて分かりやすく解説されました。特に、現代の生活(ツイッターや無料ゲーム、友達との関わり方など)がどれだけ時間を無駄にしているかということを中心に、今、学生という責任を問われない時間が如何に貴重かを、新入学生世代をよく知る林さんならではの言葉で語られました。

途中退席者がほとんどいないほど学生たちを夢中にさせた林さんの講演。最後には「意志を持ち、目標を高く持つこと。今という、お金には代えられない時間を大切にしたい」というメッセージが学生たちに送られました。

(京田辺校地学生支援課)

脳科学研究科公開講演会開催

神経難病の克服に向けて ―神経疾患研究の現在と治療、創薬―

3月29日、京田辺キャンパス恵道館で、脳科学研究科主催、京田辺市、木津川市、精華

町(公財)関西化学術研究都市推進機構の各団体からの後援による脳科学研究科公開講演会「神経難病の克服に向けて―神経疾患研究の現在と治療、創薬―を開催しました。

認知症をはじめとする神経疾患の患者は高齢化社会を迎えている日本において、増加していますが、発症原因についてはよく分かっていないのが実状です。より良い治療法の開発に社会の期待が高まる中、本講演会では、いわゆる神経変性疾患のうち、アルツハイマー病、パーキンソン病等について、現在の研究とその治療方策や創薬への展望について、一般向けに分かりやすく解説するというものでした。

講演会では御園生裕明脳科学研究科教授からの研究科紹介、渡辺好章副学長・脳科学研究科長からの挨拶の後、学外からの招へい者を含めた3人の講師がそれぞれ「アルツハイマー病治療の2つの方向」(井原康夫脳科学研究科教授)、「パーキンソン病―病態解明の試み―」(藤山文乃脳科学研究科教授)、「ゲノムから神経変性疾患を読み解く―分子病態機序の解明から根



本的治療へ」(辻省次東京大学医学部教授)のテーマで講演を行い、最後に、聴衆からの質疑応答を行って、まとめとしました。

事前申込制でかつ年度末の慌ただしい時期にもかかわらず、当日は150人もの参加者がありました。質疑応答でも何人もの聴衆から熱心な質問があり、講師との間で積極的なやり取りがなされるなど、充実した講演会とすることができました。

(脳科学研究科)

体育会表彰式

3月8日、2013年度体育会表彰式を同志社礼拝堂で行いました。

この表彰式は、世界規模の大会、全国規模の大会、西日本規模の大会等において優秀な成績を収めた体育会所属の部や個人の功績を称えて表彰するもので、大学と体育会本部が共催しています。

村田晃嗣学長の式辞、大谷實総長、続いて濱直樹同志社スポーツユニオン会長から受賞者を讃える祝辞の後、最優秀部賞をはじめとする各賞の授与が行われました。

表彰に続いて、体育会委員長による謝辞、前体育会委員長の答辞、鈴木良始学生支援センター所長より挨拶が行われ、最後に出席者一同によるカレッジソング斉唱があり式が締めくくられました。

●最優秀部賞(総長杯)

・ボードセイリング部 ・居合道部



●最優秀選手賞(学長杯)

- ・カヌー部 ・ヨット部
- ・アーチェリー部 森本紘文さん(経済学部)
- ・石川海洋さん(スポーツ健康科学部)
- ・ボードセイリング部 内園拓也さん(文化情報学部)
- ・堀野舞歩さん(文学部)
- ・フエンシング部 宇山賢さん(商学部)
- ・ゴルフ部 坂下莉翔子さん(社会学部)
- ・居合道部 竹藪直人さん(理工学部)
- ・自転車競技部 志野安樹さん(理工学部)
- ・柔道部 草野太智さん(経済学部)
- ・カヌー部 坂田真さん(商学部)
- ・空手道部 柏岡鈴香さん(スポーツ健康科学部)
- ・大野ひかるさん(スポーツ健康科学部)
- ・国米櫻さん(文学部)
- ・東海志保さん(スポーツ健康科学部)
- ・弓道部 弓立佳奈さん(スポーツ健康科学部)
- ・日本拳法部 松岡里帆子さん(商学部)
- ・ラグビー部 大越元気さん(商学部)
- ・石田幹太さん(商学部)
- ・末永健雄さん(社会学部)

部) 松井千士さん(スポーツ健康科学部)

・射撃部 綾戸真美さん(商学部)

・ヨット部 柳林俊さん(社会学部)

その他、優秀部賞、優秀選手賞、奨励賞、新人賞、同志社スポーツユニオン功労賞がそれぞれ授与されました。

(スポーツ支援課)

文化系公認団体表彰式

3月14日、寒梅館ハーディーホールにて、「2013年度文化系公認団体」の表彰式を開催しました。今年度に全国規模の大会等でトップレベルの活躍をみせた団体はもちろん、社会貢献性の高い活動を行った団体、学生らしい創意工夫が見られた団体を対象となり、今回は以下の15団体が表彰されました。

なお、今年から新たな取り



組みとして、当日にプレゼンテーションを行い、その場で賞を決定する方式になりました。プレゼンの出来によって評価が変わってくるため、学生たちは日頃の成果を5分間という短い時間に凝縮し、非常に緊張感のある発表が行われました。

今回、大賞に輝いたのは国際居住研究会です。海外ボランティアや募金活動、小中学生への講演活動などを、プレゼンテーションソフトを用いて分かりやすく印象的に伝える手法が評価され、初受賞となりました。

優秀賞に輝いたのは機械研究会、学生放送局、書道部の3クラブです。機械研究会は第11回全日本学生フォーミュラ大会総合3位、コスト審査1位などが評価されての受賞となりました。学生放送局は第30回NHK全国大学放送コンテストにおいて、人々の感情が連鎖していく様を訴えた作品が音声CM部門1位を受賞したことが評価されての受賞となりました。書道部は全日本高校・大学生書道展や高野山競書大会等で優秀な成績を収め受賞しました。

●学生支援センター大賞

・国際居住研究会

●優秀賞

・機械研究会 ・学生放送局 ・書道部

●優良賞

・人力俵友之会 ・F.B.I.

●敢闘賞

・交響楽団 ・グリーククラブ

●地域貢献賞

- ・マジック&ジャグリングサークル Hocus-Focus
- ・法学研究会 ・漫画研究会
- ・学生テレビ局 ・鉄道同好会
- ・学生新聞局 ・広告研究会
- (今出川校地学生支援課)

同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより、広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、今出川キャンパスの教育研究環境の再整備を目的とした「今出川キャンパス新校舎建設資金募金」、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設等整備資金募金」、経済的困窮に苦しむ学生を支える特定寄付奨学金制度の資金に充てる「奨学金資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多方面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。2013年度の募金事業の実績について、次の通りご報告します。

2013年度 募金事業実績報告書(2013年4月~2014年3月入金分)

募金事業	寄付件数及び金額		使 途
今出川キャンパス 新校舎建設資金募金	在学生父母	249件 15,715,000円	2013年度に実施した今出川キャンパスの耐震工事等のための資金として活用。
	卒業生、一般、法人	38件 23,912,000円	
	計	287件 39,627,000円	
教育研究施設等 整備資金募金	在学生父母	218件 12,565,000円	2013年度に実施した影栄館改修工事など、施設整備資金として活用。 ■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2013」(同志社大学2013年度の事業実績)に記載しています。
	卒業生、一般、法人	11件 405,000円	
	計	229件 12,970,000円	
奨学金資金募金	卒業生、一般、法人	66件 8,373,382円	2013年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用。 給付件数29件、給付総額8,700千円 残額は2014年度と同奨学金資金として繰越。
	教職員	57件 4,660,000円	
	計	123件 13,033,382円	
同志社ルーム記念館 プロジェクト・サポート募金	卒業生、一般、法人	3件 3,005,000円	2013年度に実施した同志社ルーム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産・官・学・地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用。
	教職員	4件 121,000円	
	計	7件 3,126,000円	

なお、奨学金資金募金では3月末までに、卒業生及び教職員の方々から以下の通りご協力をいただきました。

■2013年度協力者(芳名)

(2014年2月~3月申込分 順不同 敬称略)

- 【卒業生】ご父母、一般、教職員
- 4,000,000円 吉川 進三
- 500,000円 三浦 哲司
- ご芳名のみ 守口 彰
- 匿名 4名

※教育研究施設等整備資金募金、プロジェクトサポート募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成しご寄付いただいた方々にお送りしています。

本学では個人の皆さまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を受け付けております。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ed.jp>
インターネットでの募金では以下の払込方法をご選択いただけます。

- 1 クレジットカード
- 2 インターネットバンキング
- 3 口座振替

これらの募金事業については、本年度以降も社会各界に対して継続的に呼びかけを行いますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(資金課)

新任教員紹介

授業科目を担当する専任教員を紹介します。
①所属(学科/専攻) ②職名



李 善恵
①シノン
②社会(社会)



濱嶋 幸司
はまじま せいじ
①学習支援
教育開発センター
②准教授



石田 貴美子
いしだ たかみこ
①研究開発推進機構
②学術研究員



岩坂 将充
いわさか まさみち
①高等研究教育機構
②准教授

本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

- 刑事訴訟法の争点 古江頼隆 洲見光男 他著 有斐閣 2,000円
- コーパスとテキストマイニング 金明哲 他編著 共立出版 3,700円
- 子どもが伸びるほめる子育て 太田肇著 筑摩書房 740円
- 現代英語学へのアプローチ 山内信幸 他編著 菊田千春 長谷部陽一郎 他著 英宝社 2,800円
- 政治のリアリティと社会心理 平成小泉政治のダイナミクス 池田謙一 他著 木鐸社 4,000円
- 憲法Ⅱ 人権 松本哲治 他著 有斐閣 2,800円
- 次世代自動車、EV/HV対応 省エネ「熱マネージメント」 排熱回収技術から断熱・遮熱材料まで 渡辺好章 他著 情報機構 5,200円
- 障害者スポーツの環境と可能性 藤田紀昭著 創文企画 3,000円
- 一番ヶ瀬社会福祉論の再検討 一 生活権保障の視点とその広がり 中川清 他著 ミネルヴァ書房 4,500円
- 入門刑法学 第5版 瀬川晃 他編 有斐閣 2,500円
- 比較福祉国家 ー理論・計量・各国事情ー 柴田悠 他著 ミネルヴァ書房 3,500円
- 経営者の報酬の法的規律 伊藤靖史著 有斐閣 5,800円
- 入門・経済学 第3版 篠原総一 他著 有斐閣 2,900円
- 脱成長戦略 新しい福祉国家へ 橋本俊昭 他著 岩波書店 1,900円
- 有斐閣経済辞典 第5版 徳岡幸 室田武 他著 有斐閣 4,200円
- 子どものニーズをみつめる 児童養護施設のおゆみ つばさ園のジェネラリスト・ソーシャルワークに基づく支援 黒木保博 他著 ミネルヴァ書房 3,000円
- 関係フレーム理論(RFT)をまなぶ 武藤崇 他監訳 星和書店 2,800円
- 刑法演習ノートー刑法を楽しむ21問 十河太郎 他著 弘文堂 3,000円

中道 教顕さんに聞く



インタビュー
小野 麻由香 さん
〔法学部法律学科3年次生〕

今回の同志社人

のりあき
中道 教顕さん

〔1982年 法学部法律学科卒業〕

1959年生まれ、静岡県出身。1982年立石電機株式会社(現オムロン株式会社)入社。2004年人財マネジメント室人事労務部長、2007年経営資源革新本部人財センター労政部長。2009年オムロンマネジメントセンターオプアジアパシフィック社長を経て、2013年、人材派遣、転職支援などを行う、オムロングループの総合人材サービス会社、オムロン パーソネル株式会社代表取締役社長に就任し、現在に至る。

小野 ●私と同じ同志社大学法学部を卒業後、オムロンに入社されて長く人事関連の業務に携わってこられました。人を対象にしたお仕事の難しさや楽しさはどんな点にあるのでしょうか。

中道 ●ヒトは他の経営資源であるモノやカネと違い、感情によって持てる能力を大きくもすれば小さくもします。しかもその能力は経験や教育によって変わります。いかにそれを大きくしていくか、パフォーマンスを最大限発揮してもらうか。人事制度や職場の風土形成、組織体制づくり、人の配置、健康管理など様々な施策によって、各職場における人的マネジメントの側面をサポートしていくところに、人事の仕事の難しさも面白さもあります。

小野 ●中道さんは海外の勤務も長く担当されています。海外でビジネス展開してい

く上ではどんなことが大切になりますか。

中道 ●私はアジアパシフィック地域本社のトップとして、シンガポールに4年いました。アジアパシフィック地域には9カ国、22社のオムロングループの現地法人があります。それらの会社を管理・統括し、本社機能としてサポートすることが役割で、私は月の3分の1から半分はエリア内の国々を巡回する生活をしていました。この地域はシンガポールやマレーシアのような先進国もあれば、インドネシアやタイのように成長著しい国とその他の新興国が混在しており、経済成長の度合いがかなり異なります。また、キリスト教に仏教、ヒンズー教、イスラム教と多様な宗教を持っていて、生活文化も違います。ですから、グループとしての共通施策を展開するのは容易なことではなく、その国の実情に合わせて、現地の人たちが理解し受け入れられるようにしていくことが、何より重要になってきます。

小野 ●それにはどんな方法があるのでしょう。

中道 ●基本的にはその国の人々の中へ入



木を組み合わせて絵にした「ガネッシュ(象の神様)」。インドを去る時、子会社の社員が友情の印として贈ってくれた。



り込むしかありません。その会社の経営者、各部署の担当者と話し込み、向こうの実情を理解するところから始めないと前には進みません。基本は人対人ですから、コミュニケーションをいかにうまく取るかで、ものごとがスムーズに進むか、滞るか、迂回してしまうか、大きく変わってきます。そこで私が心構えとしてずっと自分に言い聞かせているのは「オープンマインド」と「リスペクト」なのです。まず心を開いて全てを受け入れる、そしてその国の文化、歴史、生活習慣に関心を持ち、相手を尊敬する気持ちで接することです。そうすれば自然と相手の心も開き、建設的な関係を築くことができます。私は英語が苦手なのですが、何とかやれたのは「オープンマインド」と「リスペクト」を大

事にしたからだと思いますね。

小野 ● そんな海外での経験から、現在の会社のお仕事に役立っていることはありますか。

中道 ● 海外の経験が直接今の事業に結びついているわけではありませんが、アジアの国々では今、共通のキーワードが「チャレンジ」なのです。新興国が多いので、自分たちで道を切り開いていかなければならない。私が行った時も、実は地域本社といってもほとんど実体がなく、全ての機能をからつくっていきました。そこから自ら挑戦していくというマインドが養われました。オムロングループでは、現在チャレンジをキーワードに展開しています。例えば当社では、社会貢献の一環として行っているものに若年層の就労支援があります。京都府や滋賀県から受託して、ニートと呼ばれる人や就職に自信を無くした人などを集めて教育指導をし、中小企業などにマッチングして就職できるようにしています。これから労働人口は確実に減っていきます。すでに介護士、看護師などの人手不足が如実に現れています。他方で女性、高齢者、若年者、障がい者、外国人などダイバーシティとして活躍してもらえ



る人たちは潜在的な求職者なのです。これらの人たちを人手不足といわれるところとうまくマッチングできれば、大変大きな社会貢献になると思います。ぜひそういうことに挑戦していきたいと思っています。

小野 ● 大学時代のことをお聞きしたいのですが、在学中にはどんなことに取り組まれていたのでしょうか。

中道 ● 吟道部というところに入っていました。漢詩などを吟じるクラブです。3年次生の時には部長が40人もいて、関西の学生詩吟連盟に加盟していた20数校の中

では最大のクラブでした。活動は体育会系、応援団の類に近く、発表会では学生服が必須です。毎日昼休みに御所で練習し、欠席は許されません。上下のつながり、人間関係の濃密な部でした。ところが京田辺と今出川にキャンパスが分かれたことで、結局続けることができなくなりました。残念ながら、私が卒業して10年もたらずに廃部になってしまいました。

小野 ● その頃の強固なつながりは今にかざれていますか。

中道 ● 3年次生の時に主将をしていたのですが、主将といっても特に権限があるわ



けではありません。同期が12人いて、彼らが後輩や他大学の学生たちの前で主将として立ててくれるから、部としてまとめていくことができました。それには渉外、指導、企画、総務といった他の役職を担当する同期の意見を最大限尊重し、みんなが協力していかなくてはなりません。主将が強権で引っ張るのではなく、12人全員がそれぞれの役割に責任を持って組織を構成することが重要なのです。私の人事の考え方の原点はそこにあります。仕事でいえば、管理職（マネージャー）とリーダーの根本的な相違点がそれだと思っています。例えば、海外の子会社の問題については、そのトップ（社長）の現地に精通したプロフェッショナルとしての意見を最大限尊重しながら、最終的な判断を下す。こ



れもリスクベクトです。この考え方が吟道部の活動の中から、信念として強く心の中に刻み込まれたような気がします。

小野 ● それでは最後は現役の学生へのメッセージをお願いします。

中道 ● 新島襄の「寒梅」という漢詩をご存知でしょうか。吟道部時代にはこれを部詩にして、毎日練習を始める前に全員で号吟していました。

「庭上一寒梅 笑侵風雪開 不爭又不力 自占百花魁」
 早春の庭に寒梅が一本ある。厳しい風や雪に耐えて、美しい花を咲かせている。別に他と争うわけでもなく、また努力しているわけでもなく、ごく自然に多くの花の先駆けとなっている」

新島襄が同志社を設立するまでの道程は、並大抵の苦労ではありませんでし

た。パイオニアだった新島襄という1人の人間を見た時「寒梅」の詩の意味がとても深く心に響きます。新島襄のこの詩の裏に秘めた思いはチャレンジなので

す。迫害、抵抗を受けて辛い思いをしながらも、新しいことに挑戦する。何事も初めてやることにはリスクが伴いますし、勇気が必要です。しかし、リスクテイクしてチャレンジしていかなければ、成長はありません。チャレンジする勇氣は若者の特権です。学生の皆さんは心身ともに若いわけですから、リスクを取っているんな新しいことにチャレンジしてほしいと思います。

小野 ● 私もチャレンジできるように頑張ります。本日はお忙しいところをありがとうございました。

INTERVIEWER

勇気を出してチャレンジしないと、前には進めない。

「オープンマインド」「リスペクト」それに「チャレンジ」、私にとってこれらの言葉が今回の対談のキーワードです。国際交流のサークルでいろんな国の留学生と話していても、これまではあまり意識することがありませんでしたが、きちんと相手に関心を持ちリスペクトしていくことが理解につながるのだと思いました。今まで私もいろんなことにチャレンジしてきたつもりです。高校の文化祭で運営を担当したこともあるし、アルバイトで塾の講師をしていて新しく入ってくる子の体験授業を引き受けたりしています。これからも未体験のことに積極的にトライしてみようと思います。今チャレンジしたいのは、社会労務士の資格を取ること。合格率がすごく低い難関ですが、挑戦しなければ前に進むことはできませんから。

小野 麻由香さん

法学部法律学科 3年次生

京都市生まれ。同志社女子中・高出身。数学が好きで最初は理系志望だったが、法学を勉強したいと文系に転向。現在、バレーボールと国際交流のサークルに在籍。労働法のゼミに在籍しており、将来の進路はまだ何も決めていないが、漠然と人事関連の仕事がしたいと考えている。

地道な作業の積み重ねの中に、 知的好奇心への刺激がある。

私は同志社高校の出身です。高校時代は、他の人ならば大学受験の勉強に費やす時間を、自分が将来いつたい何をなすべきなのかを模索することに使うことができました。例えば写真部、演劇部で活動したほか、興味があった社会現象や政治経済に關係する本を読む時間も持つことができ、知識も深まりました。大学の学部を選択する際には、法学部政治学科か文学部の新聞学専攻かで迷いましたが、新聞学を選んだのは、権力の側から社会を見るのか、反権力的な立場から社会を捉えていくのかという視点で考えた時、後者のジャーナリズムを学びたいと思ったからです。私は、何でもやってみて自分の目で確かめ、体験しないと納得できない性格なので、大学時代はとにかくいろいろなことに首を突っ込んでみようと思いました。演劇、写真、最初は学生放送局にもいましたし、新聞を作るサークルでも活動していました。とにかくがむしゃらに過ごした4年間でした。

就職ではジャーナリズムの世界に身を置きたいという気持ちから、読売新聞を受けました。新聞社の編集局には取材部門、写真部門、編成部門、校閲部門の4つがあり、私は最初から校閲が希望でした。記事の内容の正誤を、自分の持っている知識を駆使し、資料や文献に照らしてチェックするというのは、とても知的好奇心を刺激される仕事です。常に新しい発見があり、自分の持っているもの、得たものが、仕事のどこかで役に立つ。高校の3年間、大学の4年間でいろいろなことに関わってきた経験や蓄えた知識が生きているのではないかと思っただけです。

校閲の仕事は間違いを見つけたり前、見逃せば一大事です。ありえないミスというものが往々にしてあり、失敗の方が多し。落とし穴をつぶしていく地道な作業は、驕りや知っているという慢心が一番危険です。ちょっとしたミスがどこに潜んでいるか分からない。写真の取り違え、写真の右から2人目という説明が実は3人目だったり、1面のコンテンツ表示の内容が中面の記事と違っていたり、知識ではない部分で経験がものを言うところがあります。失敗から学ぶことは多いし、失敗は全て教訓になります。決してスポットライトが当たる仕事ではありませんが、新聞の信頼性を支えているという自負は持っています。

私がマスコミ志望の人たちに言えることは、

校閲部



前川 陽平さん

【2006年 文学部社会学科新聞学専攻卒業】
読売新聞大阪本社 編集局校閲部 記者

校閲の仕事の内容は、実際に新聞社で働いている卒業生の人たちから聞いて知った。旅行が好きで、全国を旅して回った時も、駅の名前の謂われやその土地の歴史的背景が気になって調べる。そんな知的好奇心の旺盛さが、校閲の仕事には向いていると思った。「校閲部の人たちはみんなそれぞれにマニアックな分野があって、そんな人たちと話しているとすごく勉強になります」。勤務のシフトは、朝刊を担当する時は夕方6時から夜中の1時半まで。夕刊がメインの今は朝9時に出勤して夕方5時には終わる。仕事が終わった後は、本を読んだり映画を観たり、自分の好きなことに使えるのがうれしいと言う。「お酒を飲みに行って、違う業種のいろんな人たちと話をしたり、そこで得たことがどこかで仕事に役立ってくるのです」。人の文章が読めて、それで給料がもらえる。こんな面白い仕事はなかなかない、と笑う。

医師との信頼関係を築き、 患者のために医療貢献を目指す。

医療業界に興味を持ったのは、親戚の人が病気になることが続いたのがきっかけです。就職活動で武田薬品工業にOG訪問して、先輩の話聞かせていただいた時に、業界トップクラスで230年を超える歴史ある企業でありながら、とても自由な雰囲気であることを知り、そんな会社で働きたいと思いました。当時はMRという仕事について、あまりよく知らなかったのですが、医薬品の情報活動を通じて社会に貢献できる身近な仕事であると感じたことから、就職活動はMR一本でした。

半年間の研修期間を経て浜松営業所に配属され、現在は浜松市中区を中心に、約100軒の開業医を担当しています。開業医の医師は年齢層が幅広く専門知識も豊かなので、こちらから説明するというよりは、まず医師の治療方針をお伺いした上で、求められる情報を提供しています。例えば、新薬が発売された時には、患者さんが薬を変えることに不安を持たれることがよくあります。医師にその薬の有効性と安全性について情報活動を行い、それを医師から患者さんに説明いただきます。その結果、新薬によって血糖値や血圧が改善し、

「患者さんが喜んでいたら」と、医師からお聞きすると、この仕事をしていてよかったなと思います。営業成績の数字が上がるとも、もちろんうれしいことなのですが、単なる営業で終わらず、社会に貢献できているという実感がこの仕事のやりがいです。

医師や看護師を対象とした勉強会では、プレゼンテーション形式で説明する機会が多いのは、この仕事を始めて意外なことでした。医師からは専門的な情報を求められることが多いのですが、看護師からは疾患の一般的な情報というニーズもあり、社内の研修資料や医薬品関連の雑誌・ニュースなどから情報収集しています。人前で緊張せずに話せるようになるまでは大変でしたが、話の仕方にも工夫が必要でした。より相手に理解していただくために、話の導入部や、スライドの見せ方を工夫しています。これには、大学時代に社会学部メディア学科のゼミで、広告コピーを考えたり、好きな雑誌を紹介した経験が生きていると思います。

薬学部系出身が多いと思われるMRですが、文系出身の方もたくさん活躍されています。学術知識が豊富な人、人間関係の作り方が上手な人、いろいろなタイプのMRがいます。私の場合は、医薬品・医療など様々な話題を通じて、人間関係を築いていくことを強みとしたいと思っています。MRは、医療関係者の方々と接しながら自己成長できる仕事です。一番の目標は、患者さんのために医療貢献すること。社内には結婚・出産後も仕事を続けている先輩が多くいるので、私もそうなりたいと思っています。



小野田 真実さん

【2011年 社会学部メディア学科卒業】

武田薬品工業株式会社 名古屋支店
浜松営業所 第二チーム

滋賀県出身。京都には特別な憧れの気持ちがあったので、学生時代は今出川キャンパスへ通えるだけでうれしかったのだそう。「学生が多いのも同志社大学のいいところ。バレーボールのサークルではいろいろな学部の人と出会うことができました。4年間、居酒屋でアルバイトもしていたので、アットという間の学生時代でしたが、在学生の方には、旅行や留学など学生のうちにできることはしておいたほうがいいとお伝えしたいです」と言うが、いろいろな立場の人とのコミュニケーションが大切な仕事で、人当たりが柔らかく、聞き上手な小野田さんは今、水を得た魚のように、学生時代の友人に会うと、「ちゃんと仕事しているの?」と聞かれるというのは、その笑顔があまりにも屈託がないからに違いない。

- 6月28日(土) ギタークラブ「フレッシュマン コンサート」
寒梅館 クローバーホール 15:00～(14:00開場) 無料
- 6月29日(日) 混声合唱団こまぐさ「サマーコンサート」
寒梅館 ハーディーホール
18:00～(17:15開場) 1,000円
- 6月30日(月) 喜劇研究会「お笑いライブ」
寒梅館 クローバーホール
13:00～14:30(予定)(12:30開場) 無料
- 7月3日(木) 学生保健部会「献血」
今出川 明德館前 10:00～16:30 無料
- 7月8日(火) 軽音楽部「前期コンサート」
寒梅館 ハーディーホール 15:00～(14:30開場) 無料
- 7月10日(木) 喜劇研究会「お笑いライブ(同早戦)」
寒梅館 クローバーホール
13:00～14:30(予定)(12:30開場) 無料
- 7月12日(土) コール・フレューゲル「Summer Concert 2014」
寒梅館 ハーディーホール
16:00～(15:30開場) 500円
- 7月12日(土) 法学研究会「常設法律相談」
寒梅館 2A・2B会議室 13:00～16:30 無料
- 7月13日(日) 応援団吹奏楽部「サマーコンサート」
寒梅館 ハーディーホール 18:00～(17:30開演) 無料
- 【学外】
- 6月7日(土) 交響楽団「第12回京都公演」
京都府長岡京記念文化会館 19:00～21:00(18:00開場)
一般 1,000円 学生・シニア 500円
- 6月14日(土) 能楽部観世会「同志社大学観世能」
能楽堂 嘉祥閣 11:30～16:45 無料
- 6月15日(日) 交響楽団「第53回同立交歓演奏会」
東京芸術劇場 18:00～20:00(17:00開場)
S席:1,500円 A席:1,000円
- 6月21日(土) グリークラブ「東西四大学合唱演奏会」
京都コンサートホール 18:00～(17:00開場)
全席指定 S席:2,500円 A席:2,000円 B席:1,000円
- 6月21日(土)・22日(日) 書道部「青嵐展」
建仁寺西来院 10:00～17:00 無料
- 9月2日(火)～6日(土) 機械研究会「第12回 全日本学生フォーミュラ大会」
静岡県小笠山総合運動公演(ECOPA) 無料
- 9月12日(金) マンドリンクラブ「第15回東京公演」
渋谷区文化総合センター大和田さくらホール
19:00～ 1,000円、高校生以下無料

学生支援センター 障がい学生支援室(今出川/寒梅館1階)
TEL:075-251-3273 E-mail:ji-care@mail.doshisha.ac.jp
学生支援センター 障がい学生支援室(今出川/待辰館1階)
TEL:075-251-3261
(両校地とも障がい学生支援コーディネーターが常駐しています)

応援に行こう!～体育会試合日程

開催日時等は変更されることがあります。

【アメフト部】

春季試合日程・秋季試合日程

- 6月8日(日) 対戦相手:立教大学 場所:アミノバイタルフィールド 13:30 KO
- 6月22日(日) 対戦相手:天理大学 場所:同志社大学グラウンド 13:00 KO
- 8月29日(金) 対戦相手:関西学院大学 場所:EXPO FLASH FIELD 18:30 KO
- 9月14日(日) 対戦相手:立命館大学 場所:EXPO FLASH FIELD 18:00 KO
- 9月28日(日) 対戦相手:関西大学 場所:王子スタジアム 14:00 KO

【バスケットボール部】

●6月21日(土)～22日(日) 立教大学定期戦

場所:立教大学池袋キャンパス 時間未定

●8月30日(土)～10月11日(土) 平成26年度関西学生バスケットボールリーグ戦

場所:各大学体育館ほか 時間未定

【ボードセーリング部】

●6月21日(土)～22日(日) 関西選手権大会第一戦

場所:彦根市松原遊泳場

●6月29日(日) 関西新人大大会第一戦

場所:近江八幡市佐波江町北中島かんとりーはーばー

●8月21日(木) 関西新人大大会第二戦

場所:近江白浜水泳場内パイルーツハーバー

●8月27日(水)～29日(金) 第24回プリンセスカップ

場所:愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー

●9月27日(土)～28日(日) 関西選手権大会第二戦

場所:近江八幡市佐波江町北中島かんとりーはーばー

【日本拳法部】

●6月22日(日) 第15回西日本学生拳法個人選手権大会

場所:吹田市立武道館 10:00

【相撲部】

●7月6日(日) 西日本選抜大会 場所:大浜相撲場 時間未定

●7月20日(日) 全国選抜金沢大会 場所未定 時間未定

【テニス部】

●6月7日(土)～6月27日(金) 関西学生チャレンジテニストーナメント

場所:各大学テニスコート 時間未定

●8月1日(金)～8月8日(金) 関西学生テニス選手権大会<予選>

場所:各大学テニスコート 時間未定

●8月13日(水)～8月15日(金)・8月18日(月)～8月24日(日)

全日本学生テニス選手権大会 場所:岐阜メモリアルセンター 時間未定

●8月26日(火)～9月2日(火) 関西学生テニス選手権大会<本戦>

場所:韮テニスコート 時間未定

●9月7日(日)～9月14日(日) 関西大学対抗テニスリーグ戦<1部リーグ>

場所:江坂テニスコート 時間未定

【トライアスロン部】

●6月22日(日) 近畿学生トライアスロン選手権(インカレ予選)

場所:愛知県蒲郡市

●9月7日(日) 日本学生トライアスロン選手権 場所:香川県観音寺市

【サッカー部】

関西リーグ

●6月14日(土) 対戦相手:桃山大 場所:J-GREEN堺・メインフィールド 14:00

●6月21日(土) 対戦相手:京産大 場所:高槻総合スポーツセンター 11:30

●8月30日(土) 対戦相手:立命大 場所:キンチョウスタジアム 15:30

●9月6日(土) 対戦相手:大教大 場所:J-GREEN堺・メインフィールド 15:30



障がい学生支援制度 サポートスタッフ大募集!

同じキャンパスで学ぶ障がい学生(Challenged)の立場に立って、責任をもって支援活動に取り組んでくださる方を募集しています。初めての方でもできることはたくさんありますので、ぜひスタッフに登録して、パソコン通訳・ノートテイク・映像字幕付け・代筆・車椅子介助などの活動にご協力ください。講習会や各種イベントなど、詳しくは障がい学生支援室HP(<http://challenged.doshisha.ac.jp/>)で随時お知らせしています。関心のある方は、障がい学生支援室までお気軽にお越しください。

【支援活動の内容】

聴覚障害:パソコン通訳、ノートテイク、映像文字起こし・字幕付けなど
視覚障害:ガイドヘルプ、代筆、代読、対面朗読、講義資料・試験問題の点訳、電子データ化など

肢体不自由:代筆、車椅子介助、トイレ介助、食事介助など

【謝礼】880円/時間

【お申し込み・お問い合わせ先】

学生支援センター 障がい学生支援室(京田辺/嗣業館1階)

TEL:0774-65-7411 E-mail:jt-care@mail.doshisha.ac.jp

Doshisha Spirit Week 2014 春

同志社大学には、建学以来脈々と受け継がれてきたキリスト教主義教育、新島襄の建学の教育理念、そしてその実践といった建学の精神と伝統があります。Doshisha Spirit Weekは、キリスト教主義教育や創立者新島襄について触れ、同志社人としてのアイデンティティを高めることを目的としています。

【開催期間】6月9日(月)～6月14日(土)

<京田辺校地>

●6月10日(火) 14:55～、恵道館202番教室

「新島襄と函館」 社史資料センター 社史資料調査員 小枝 弘和 氏

●6月11日(水) チャペル・アワー 10:45～、知真館1号館111番教室

「苟くも四方の志をなせば」 文学部教授 宮庄 哲夫 氏

●6月11日(水) 14:55～、知真館2号館202番教室

「金森通倫の自伝から学ぶこと」 同志社大学名誉教授 北垣 宗治 氏

<今出川校地>

●6月10日(火) チャペル・アワー 17:30～、神学館礼拝堂

「中国の夢」と「美しい国」 経済学部教授 横井 和彦 氏

●6月11日(水) チャペル・アワー 10:45～、クラーク・チャペル

「5時からの招き」 日本キリスト教団番町教会牧師 横野 朝彦 氏

●6月11日(水) 14:55～、良心館103番教室

「徳富蘇峰と新島襄—蘇峰再評価の動きの中で—」

同志社大学名誉教授 伊藤 彌彦 氏

●6月12日(木) 13:10～、良心館地下2番教室

「我等ノ同志社」—創立60周年に見た未来像—

社史資料センター 社史資料調査員 布施 智子 氏

*上記以外にも、今出川校地「キャンパスめぐり隊」(6月14日(土)13:10、至誠館4番教室集合)、同志社大學応援団の演舞(6月9日(月)12:30～、京田辺校地ローム記念館劇場空間)があります。

*詳細はHP <http://www.christian-center.jp/> をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京田辺校地キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

今出川校地キリスト教文化センター TEL:075-251-3320

オープン・プログラム公開講演会

【講演タイトル】「原発事故の向こうに見えること～生命を守る活動から～」

【講演者】会津放射能情報センター 代表 片岡 輝美 氏

【日時】6月19日(木) 10:45～12:15

【会場】今出川キャンパス クラーク記念館2階 クラーク・チャペル

【お問い合わせ先】

今出川校地キリスト教文化センター TEL:075-251-3320



bふらっとプログラム

【会場】京田辺校地ハローホール 【料金】 無料

●6月10日(火) 第1回世界のギター博覧会 & コンサート in 京都

「大江 和基・田中 彬博・豊田 渉平」

●7月4日(金) 自作ストローミュージック

「神谷 徹」(ストロー楽器奏者)

*内容・時間は決まり次第HP等でお知らせしますのでご確認ください。

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413



WOT(ワット) = "What's On Thursdays!"

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員は全て無料

●6月5日(木) 《建築と映画の狭間～アコースモニウムで観る/聴く"建築映画"》

16:30『ゴダールのソシアリズム』

18:30『夢で逢えたら』『物質試行35』『DUBHOUSE』
アフタートーク(鈴木了二氏、七里圭監督)

料金:一般 1,300円、

Hardience会員・学生 1,000円 *入替なし

●6月12日(木) 『フタバから遠く離れて』(2012年/日本/96分)

*詳細未定

●6月19日(木) 『小さいうち』(2014年/日本/136分)

10:45/14:00/18:30

料金:一般 1,300円、

Hardience会員・学生 前売 1,000円

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

*春学期は7月中旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアタークローバーホールでは、映画史に残る名作を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階)

【料金】本学学生・教職員は全て無料

●6月3日(火) 《日本映画の新しい波 vol. 2》

*詳細未定

●6月10日(火) 《建築映画1》

17:00『キャットピープル』(監督:ジャック・ターナー)

18:30『アデュー・フィリピーヌ』(監督:ジャック・ロジエ)

入場無料

●6月17日(火) 《建築映画2》

17:00『バルタザールどこへ行く』(監督:ロベール・ブレッソン)

18:45『ラルジャン』(監督:ロベール・ブレッソン)

入場無料

●6月24日(火) 《建築映画3》 *詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

*春学期は7月中旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

♪観に行こう聴きに行こう♪—学生団体6月～9月の活動予定—

【学内】

●6月4日(水) 喜劇研究会 「お笑いライブ(新人ライブ)」

寒梅館 クローバーホール

13:00～14:30(予定)(12:30開場) 無料

●6月5日(木) 映画研究会 「上映会」

寒梅館 クローバーホール

13:30～19:30(13:00開場) 無料

●6月6日(金)～7月4日(金) KOREA文化研究会 「日朝関係史講座」

今出川 至誠館1番教室

毎週金曜 18:25～19:55 無料

●6月14日(土) ミステリ研究会 「島田荘司先生講演会」

未定 決まり次第HP(<http://dms.zatunen.com/>)にてお知らせします。 9:30～17:00 無料

●6月21日(土) 法学研究会 「常設法律相談」

寒梅館 1A・1B会議室 13:00～16:30 無料

●6月22日(日) ピアノ研究会 「定期演奏会」

寒梅館 ハーディーホール 15:00～(14:00開場) 無料

●6月23日(月) 学生保健部会 「献血」

京田辺 ローム記念館前 9:30～17:00 無料

●6月24日(火) 学生保健部会 「献血」

今出川 明徳館前 10:00～16:30 無料

●6月27日(金) 映画サークル F.B.I. 「6月上映会」

寒梅館 クローバーホール 12:00～ 無料

「第3回サイエンス・インカレ」で

生命医科学部のチームが2年連続受賞

「自ら発見し、研究した成果を発表する貴重な場を経験」

次世代の科学技術を担う若者の育成を目的に、文部科学省が開催している「サイエンス・インカレ」。自然科学分野を学ぶ全国の学生が、自主研究の成果を発表し競い合う場である。今年3月に行われた第3回に出場、口頭発表部門で「サイエンス・インカレ」コンソーシアム奨励賞「グッドパフォーマンス賞」を受賞したのが、生命医科学部医情報学科3年次生の菊池駿斗さん(写真左)のチーム、そしてポスター発表部門で「各協力企業・団体賞(ワイエムシイ賞)」に輝いたのが、同3年次生の晩田泰斗さん(写真右)のチームだ。

1年次生の時、同じ教授の研究室に出入りしていたことから知り合った菊池さんと晩田さん。教授から昨年の第2回サイエンス・インカレに生命医科学部の先輩が出場し、受賞していることを聞き、「自分たちも」考えたのが発端だという。

「メダカの学校…その協調性と混雑度」のテーマで研究発表を行った菊池さんは、所属する生物同好会でメダカを飼っていて、「行動観察をメダカでやってみたら面白いんじゃないか」と、研究をスタート。「水とエタノールの不思議な関係」液-液界面の対流現象」をテーマにした晩田さんは、研究に取り組みむきつきかけを「焼酎のお湯割りの界面がどうなっているんだろう」という、普段から疑問に感じていた「ことだった」と話す。まさに、第3回大会参加にあたってモットーとした、「教科書に載っていないことを学んでいく」の通りだ。

それぞれ3人のチームを組んで応募書類をま

とめ、書類選考を通過して本大会へ。特に菊池さんのチームの発表は、研究内容もさることながら、放送部出身の阿部麻莉絵さん(まりえ)生命医科学部医情報学科3年次生のナレーションが他を圧倒。グッドパフォーマンスという名前の賞に結びついた。加えて、菊池さんの「質問をされて、自分がわからないことを無理に答えようとしなくて、わかることだけをしっかりと答えました」という態度が、学生らしいと高い評価を得た。

今回の受賞について、2人はこう話す。

「最高位の文部科学大臣表彰を受賞した人の研究は、特許を取れるほどのレベルの高さでした。同じチームのメンバーを含めて、そんな志の高い仲間たちに出会えたこと。それに、発表を審査する教授の方々から「研究室に来てくれたらいつでもアドバイスをする」と言ってもらえたこと。賞を取ったことよりも、そっちの方が僕にとっては大きいです」(菊池さん)

「液-液界面で起こる不思議な現象を発見し、発表ではそれがなぜ起こるのか、仮説を立てて構成したのですが、重要なのは現象のメカニズムを解説することよりも、発見したという事実をしっかりと伝えることでした。発表の場では何が大切で何が大切ではないのか、それを見極める広い視野を持つことが大事。それは社会でも通用することではないかと思っています」(晩田さん)

サイエンス・インカレは2人にとっても、チームの他のメンバーにとっても、次へ向かうための大きなステップになったようだ。



晩田 泰斗さん
【生命医科学部医情報学科3年次生】

菊池 駿斗さん
【生命医科学部医情報学科3年次生】